DENON

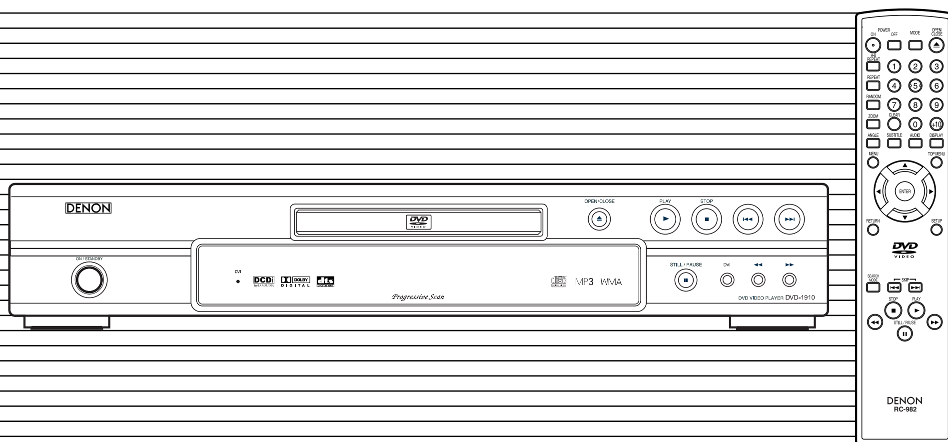
DVDビデオプレーヤー

DVD-1910

取扱説明書

安全にお使いいただくために－必ずお守りください

・お買い上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
・お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。



もくじ

ご注意

お使いになる前に

接続について

DVD・CDを再生する

ご注意

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



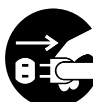
警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

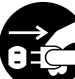


△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



警　告





電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



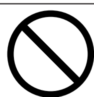
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

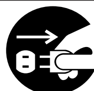
警告



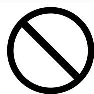
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



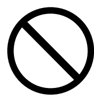
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



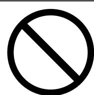
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。



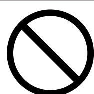
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。



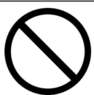
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。



- この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

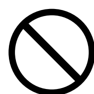


- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

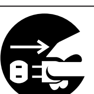
注意



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- オーディオ機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- オーディオ機器の電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。



- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

ご注意





- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。



- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



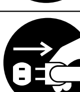
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。



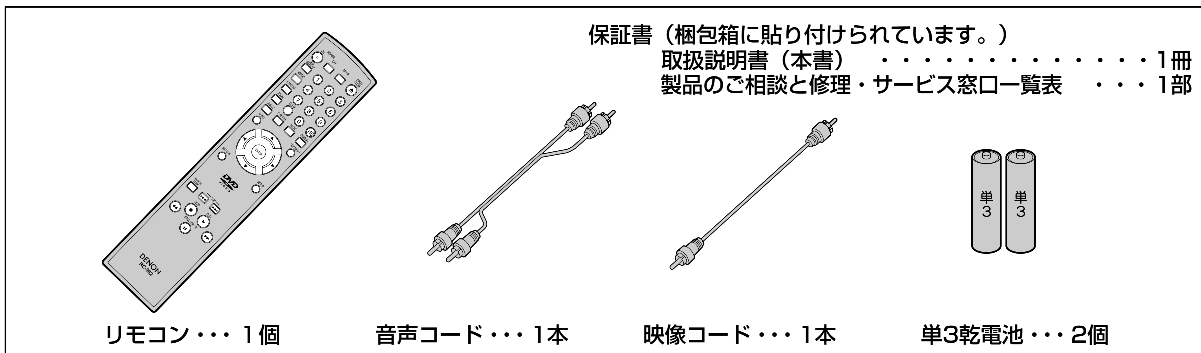
- この機器の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

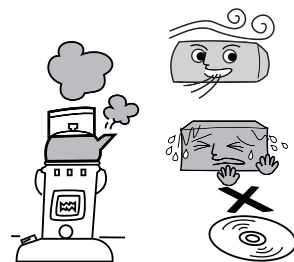
お使いになる前に

付属品が同梱されているかお確かめください。



■ 結露（つゆつき）について

- **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
  結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。
- **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
  結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、**約1～2時間乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。



■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴が付きます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。

■ 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**

■ ディスクの取り扱い



- 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
- 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
- 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
- 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
- お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 再生可能なディスクについては9ページを参照してください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

■ プレーヤーの置き場所や取り扱い

- 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズが出たりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
- 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。

お使いになる前に

■ 移動させるときは

- 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してから移動させてください。

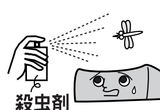
■ お手入れについて

キャビネットは…



- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。





■ リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

■ 著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要です。同社の認可がない限り、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造することも禁止されています。

■ 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力（525P/480P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。

プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、映像設定でプログレッシブの設定を“オフ”にしてください。

■ この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V　DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDビデオと表現します。）

CD　音楽用CDで楽しめる機能を表します。（本文では音楽用CDと表現します。）

VCD　ビデオCDで楽しめる機能を表します。（本文ではビデオCDと表現します。）

MP3　MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

WMA　WMA（Windows Media Audio）が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

JPEG　JPEGが記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

あどばいす　操作上、気を付けていただきたい情報を表します。


用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ <*1>	リージョン番号 2 ALL 左記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG2方式)	12cm盤
DVD-R <*2> <*3>			8cm盤
DVD-RW <*2> <*3>			
ビデオCD <*1> NTSC方式のビデオCD		デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG1方式)	12cm盤 8cm盤
音楽用CD		デジタル音声 MP3 WMA(ver.9対応) <*4> デジタル画像 (JPEG方式)	12cm盤
CD-R <*3>			8cm盤
CD-RW <*3>			
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像 (JPEG方式)	12cm盤

<*1> DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。

<*2> 本機はDVDレコーダでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

<*3> 記録状態によっては再生できない場合があります。

<*4> Plays Windows Media™ Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。

下記のディスクは再生できません。

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD　● DVD-ROM
- CD-ROM　● VSD　● CDV　● CD-G　● DVD-RAM　● DVDオーディオ
- CD-I　● フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）
- スーパーオーディオディスク（ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオ層に記録された音は再生することができません。）
- DVDオーディオディスク（DVDオーディオは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。）

■ 8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。

※CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

"Kodak Picture CD COMPATIBLE"は、Eastman Kodak Companyの登録商標です。

"WMA" (Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発した新しいオーディオコーデックです。

■ ディスク表示について

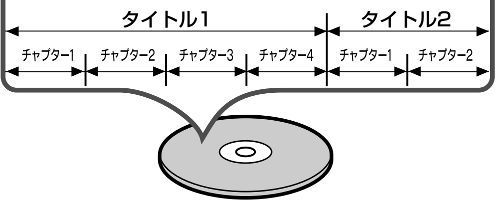
DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示		機能説明
・リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。 2　ALL		・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。		・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
	4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）サイズ画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕		・リモコンの字幕ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・DVDビデオディスクに記録されているアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例：2		・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例：4 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声		・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。

■ ディスクの構成

DVD-V





DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

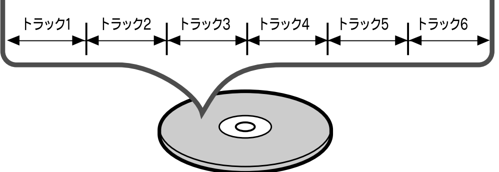
- タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
- チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD
ビデオCD









■ 音楽用CD、ビデオCDは、「トラック」に区切り構成されています。

- ●トラックとは、例えば複数の音楽が入っている音楽用CDやビデオCDで各曲ごとをさします。
- ●プレイバックコントロール（PBC）
  「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
  本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。
  本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

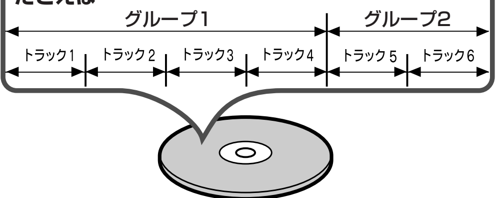
ご注意

- ●PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、DVDプレーヤー側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、PBC機能を一時的に解除しない限りできません。

PBC機能の解除と復活の方法

1. ビデオCDを再生する
2. STOP(■) を押す
3. 数字ボタンを押すとPBC機能が解除され、選択したトラックが再生される
4. PBC機能を復活させるには、再生中に STOP(■) を2回押した後、 PLAY(►) を押す
   - ●PBC機能が復活し、タイトルメニューが画面上に表示されます。

CD-R/RW(MP3、WMA、JPEGファイル形式)



MP3、WMA、JPEGのデータは「トラック」と「グループ」に区切り構成されています。MP3などのファイル形式についての詳細は、46ページをご覧ください。

- トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。
- グループとは、いくつかの「トラック」をまとめたものをさします。

お使いになる前に

■ おもな特長

プログレッシブ [➡ 19ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式よりちらつきの少ない高密度の映像を楽しむことができます。

ドルビーデジタルサラウンド[➡ 21ページ]
- ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。（ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーへの接続が必要です。）

DTS（デジタルシアターシステム）[➡ 21ページ]
- デジタルシアターシステム社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。（DTS対応アンプまたはデコーダーへの接続が必要です。）

DVI接続 [➡ 22ページ]
- HDCP（コンテンツ保護機能）に対応したモニター（またはAVアンプ）をDVI-Dケーブルで接続しDVDビデオ等の映像を再生することができます。

早送り、早戻し、一時停止（静止）、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 25、27～28ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

ランダム再生 [➡ 32、50ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生 [➡ 31、49ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

ディスクメニュー言語切りかえ [➡ 53～55ページ]
- DVDソフトに含まれているメニューが、多言語対応の場合､メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能 [➡ 56～58ページ]
- 初期設定でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、静止状態で35分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 40、53～55ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 41ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 38～39、53～55ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定 [➡ 62～63ページ]
- 視聴制限レベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVDソフト、音楽用CDなど、再生できるディスクの種類を自動的に判別して再生します。

MP3/WMA/JPEG再生 [➡ 46～50ページ]
- CD-RやCD-RWに記録されたMP3/WMA/JPEGファイルを再生することができます。

黒レベル設定 [➡ 43ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくすることができます。

バーチャルサラウンド [➡ 43ページ]
- バーチャルサラウンドを楽しむことができます。

画面表示 [➡ 51ページ]
- 各時点で行っている操作情報を､テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 33～37ページ]
- チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- トラックサーチ：
  ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間でサーチすることができます。

リピート [➡ 29～30ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター､タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（音楽用CD、ビデオCD、MP3、WMA、JPEG）：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ：
  MP3、WMA、JPEGで再生中のフォルダを繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 42ページ]
- 2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生(リジューム機能) [➡ 26ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

ビットレート表示 [➡ 51ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 59～61ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

マーカー [➡ 45ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

LPCM変換（ダウンサンプリング） [➡ 59～61ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

スクリーンセーバー
- 本機が停止している状態で、5分間何も入力がないときに起動し、接続しているテレビの明るさを75%下げます。起動中に何か入力すると、スクリーンセーバーは解除されます。

ディマー機能
- 本体表示部分の明るさを調整することができます。

P-offレジューム [➡ 26ページ]
- 電源を切っても、つづきから再生することができます。

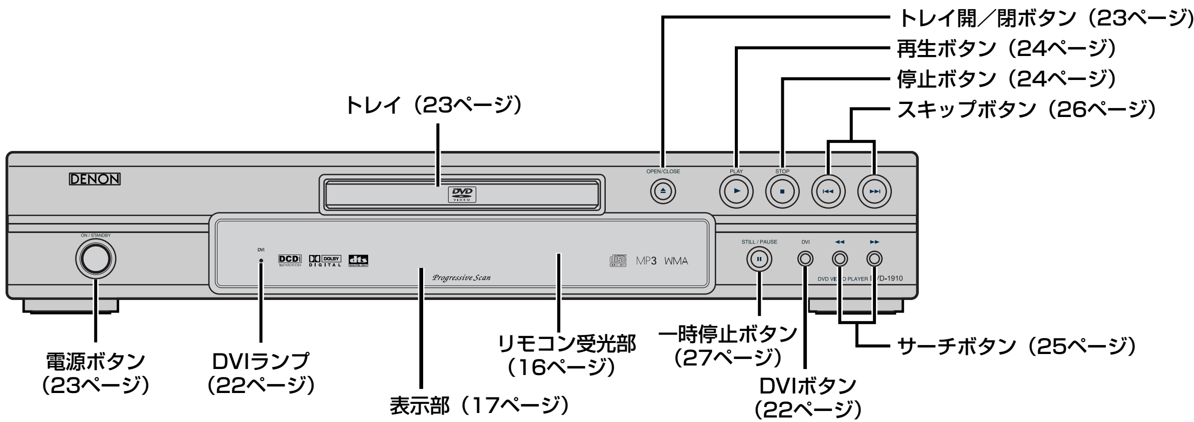
ダイアログスピード [➡ 44ページ]
- 通常再生の音質で早聞き、遅聞きができます。
- ダイアログスピードはドルビーデジタルフォーマットにのみ対応しています。

画質調整（ピクチャーコントロール） [➡ 44ページ]
- 画面の明るさ（ブライトネス)、コントラスト、色合い、ガンマ補正、シャープネスを設定できます。

■ 各部の名称と機能説明

（ ）内の番号は、本文で説明しているおもなページです。操作ボタンの機能については、表をご覧ください。

前　面

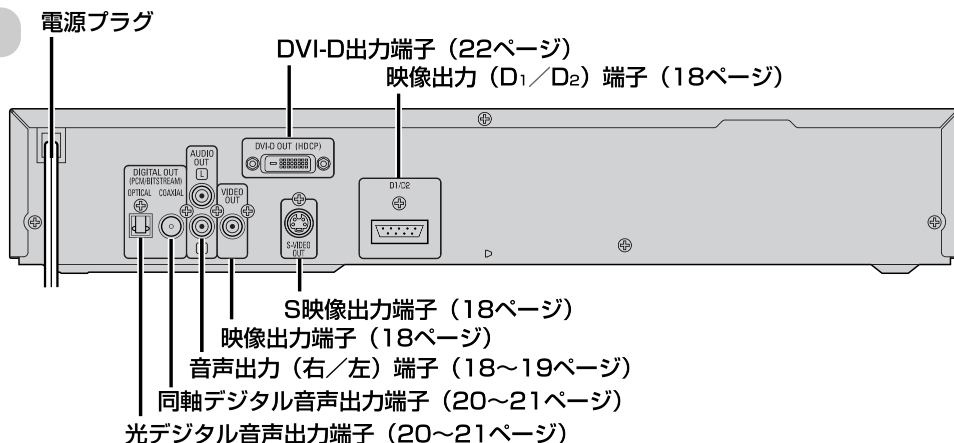


● 本体前部

	各部の名称	機能説明
英字	DVIボタン	DVI出力モードの切り換えをする
	DVIランプ	DVI-D端子から映像出力時に点灯する
あ	一時停止ボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
さ	サーチボタン	早送り/早戻し再生
	再生ボタン	ディスクの再生
	スキップボタン	チャプター(トラック)の頭出し
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」する
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの開/閉
は	表示部	ーーーーー
ら	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信する

お使いになる前に

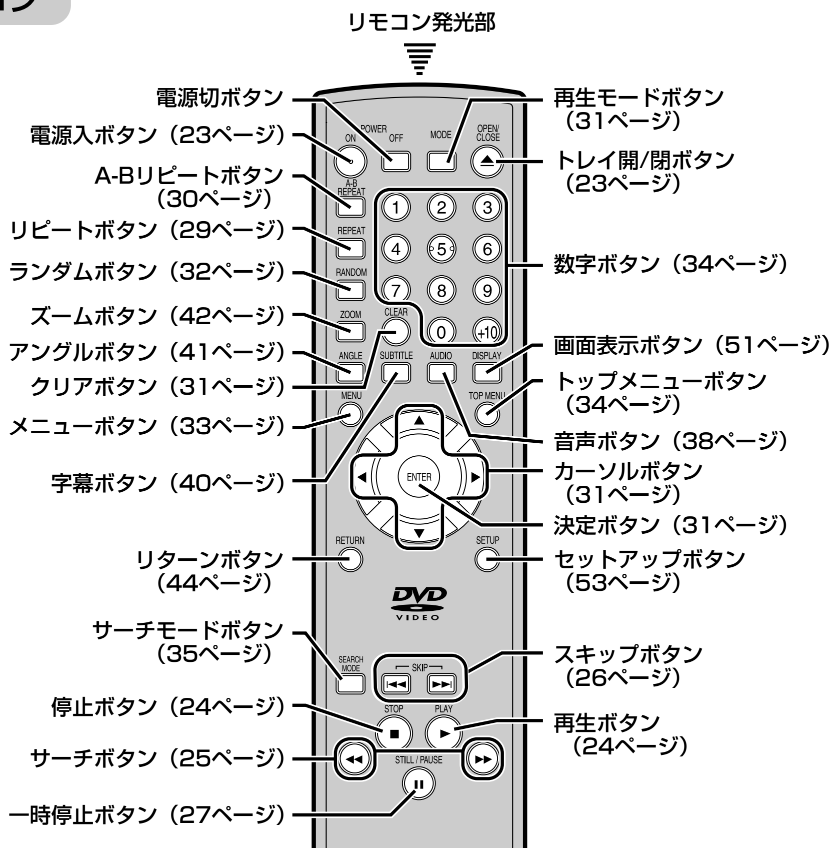
後　面



● 本体後部

	各部の名称	機能説明
英字	DVI-D出力端子	DVI-D端子付きテレビ、アンプとの接続
	S映像出力端子	S端子付きTVとの接続
あ	映像出力（D1/D2）端子	D端子付きTVとの接続
	映像出力端子	TVとの接続
	音声出力（右/左）端子	アナログオーディオ出力端子
た	電源プラグ	AC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	同軸デジタル端子付きアンプとの接続
は	光デジタル音声出力端子	光デジタル端子付きアンプとの接続

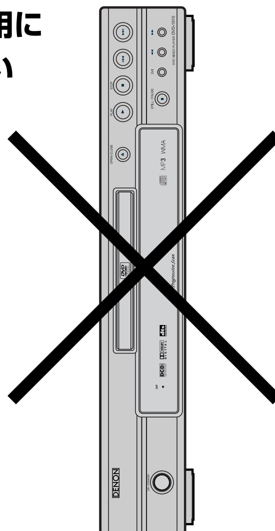
リモコン



● リモコン操作ボタン

	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	アングル(カメラアングル)の切り換え
	一時停止ボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
	音声ボタン	音声(言語)の切り換え
か	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	画面表示ボタン	ディスクの情報を画面に表示する
	クリアボタン	設定した内容を元に戻す
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	◀◀ ▶▶ (サーチ) ボタン	早送り/早戻し再生
	サーチボタン	お好みの位置の検索
	再生ボタン	ディスクの再生
	再生モードボタン	• プログラム再生画面に切り換える • 画質調整（ピクチャーコントロール） • 黒レベル設定 • バーチャルサラウンドの設定 • ダイアログスピードの設定
	字幕ボタン	字幕(言語)の切り換え
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	ズームボタン	再生画像の一部を拡大
	スキップボタン	チャプター（トラック）の頭出し（送り）
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源入ボタン	電源を「入」にする
	電源切ボタン	電源を「切」にする
	トップメニューボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示する
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ
ま	メニューボタン	• DVDのディスクメニュー画面を表示する • MP3/JPEG/WMAのファイルリスト表示
ら	ランダムボタン	ランダム再生画面に切り換える
	リターンボタン	１つ前の設定画面に戻る
	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラックの繰り返し再生

タテ置きではご使用にならないでください



お使いになる前に

■ リモコン乾電池の入れかた

1 リモコン裏側の
フタをはずす

2 乾電池を入れる
●(+)(−)を確かめる
●(−)側を先に入れる

3 フタを付ける

■ リモコンの操作方法について



リモコン受光部にむけて
操作してください。

受信許容範囲
距離
本体正面より5メートル以内
角度
本体正面より左右30度以内、
上下15度以内

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっている為に、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と外枠（被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
  (※付属の乾電池は動作確認用です。)
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- 乾電池をショートさせたり、分解や過熱、または火に投入したりしないでください。

■ 本製品の機能操作について

本機はメニュー画面(図1)等に従い、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下（23ページ以降）の説明において、リモコン主体とした説明となります。

図1 セットアップ画面(テレビ画面)



図2 リモコン 操作ボタン

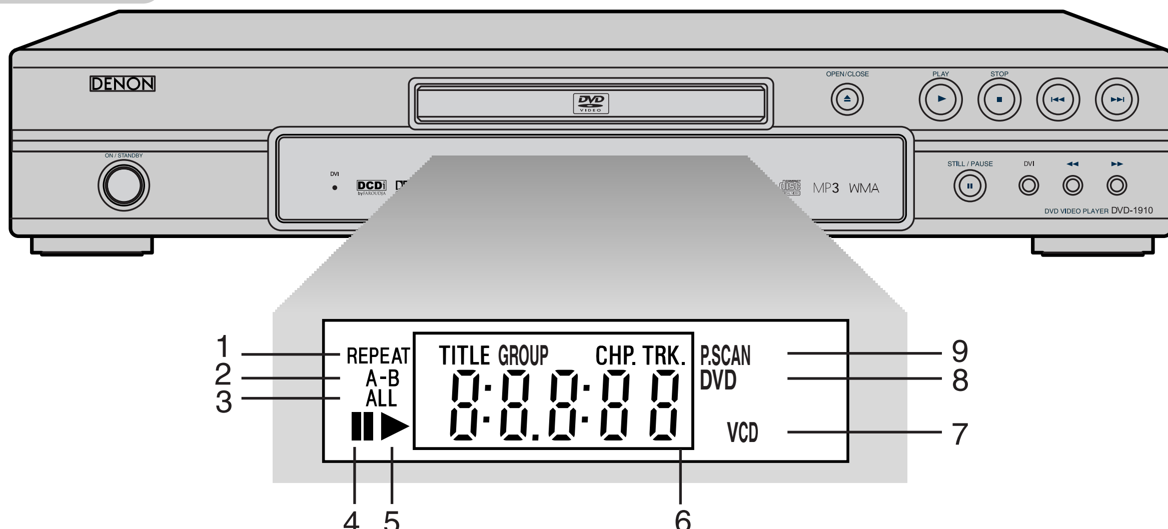


各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	MENU
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	SETUP
・選択項目の移動	カーソル	
・選択項目の確定	決定	ENTER
・項目の戻り	リターン	RETURN
・プログラム画面切り換え	再生モード	MODE

■ 表示部について

本体前面



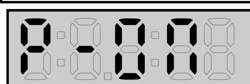
1. **リピート表示**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示**
   A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示**
   オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときと、スロー再生中に点灯します。
6. **タイトル/トラック/再生時間/DVI出力モード表示**
   現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切りかえると、新しいタイトル、チャプター、トラック番号またはDVI出力モードが表示されます。
7. **VCD/CD表示**
   VCD/CDがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示**
   DVDがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブスキャン表示**
   プログレッシブスキャンが“オン”のときに点灯します。

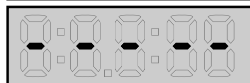
本機の表示管は時刻の表示はできません

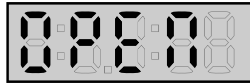
詳しい再生情報の確認はテレビ画面で行ってください。
詳しくは51ページをご覧ください。

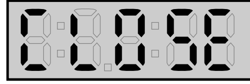
表示管の表示例

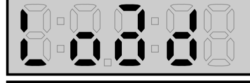
動作時のディスプレイ表示について

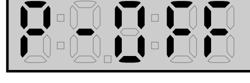

電源を入れたとき

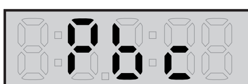

ディスクが入っていないとき

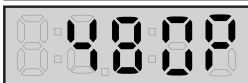

トレイを開けたとき


トレイを閉めたとき

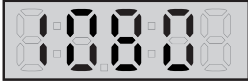

ディスク読み込み中

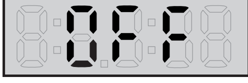

電源を切ったとき


PBC対応ソフトがトレイに入っていて、PBC機能がONのとき


DVI出力モードで480Pが設定されているとき


DVI出力モードで720Pが設定されているとき


DVI出力モードで1080が設定されているとき


DVI出力モードでOFFが設定されているとき

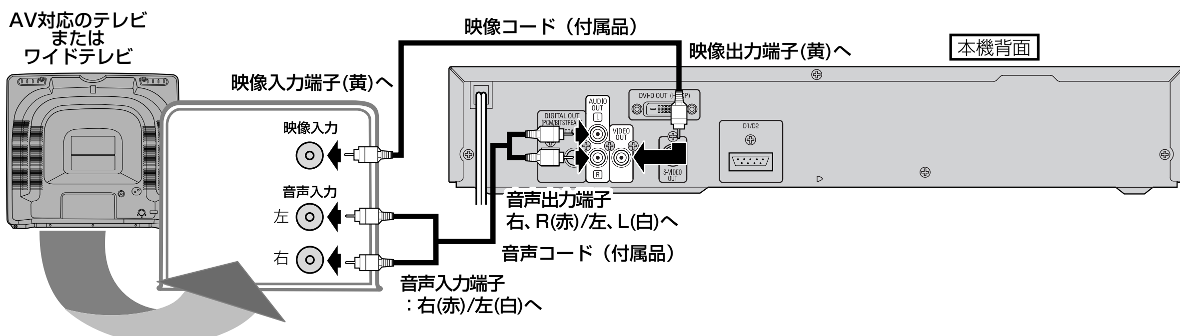
お使いになる前に

接続について

■ テレビとの接続

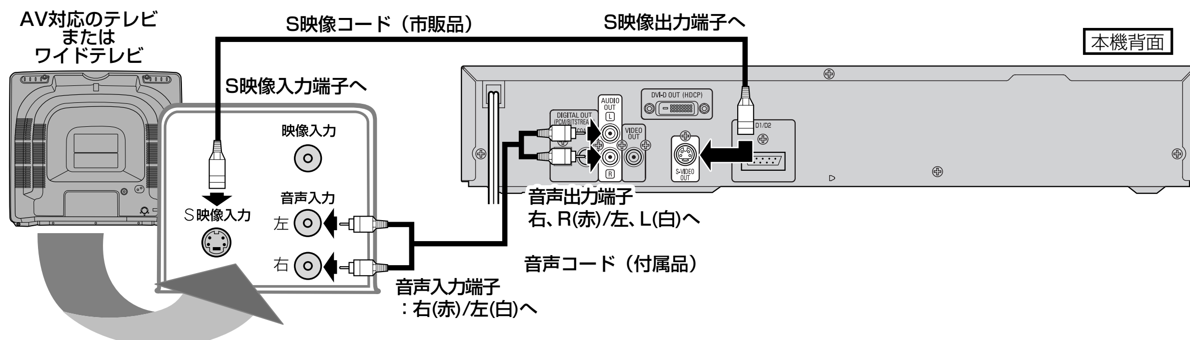
● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

外部入力端子付テレビをお使いの場合



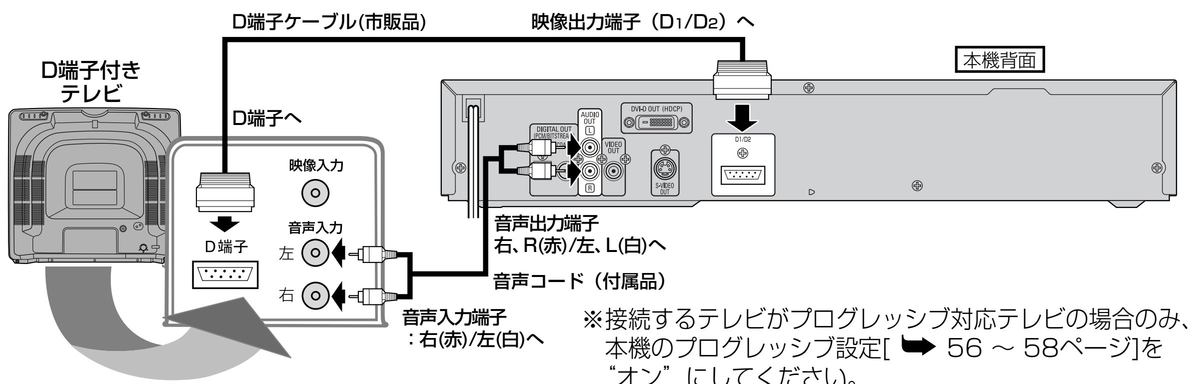
S映像入力端子付テレビをお使いの場合

- 黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
  さらに鮮明な映像を楽しむことができます。



D端子付テレビをお使いの場合

- 黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
  高品質な映像を楽しむことができます。



※接続するテレビがプログレッシブ対応テレビの場合のみ、本機のプログレッシブ設定[➡ 56 ～ 58ページ]を“オン”にしてください。

あどばいす

- テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,C_B/P_B,C_R/P_Rのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。
- DTSで収録されたディスクを再生したとき、本機のAUDIO OUTから音声は出力されません。



D端子とは？
D端子を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。D_1/D_2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で簡単に接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
D端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

プログレッシブスキャンの設定(工場出荷時は“オフ”)
接続するテレビに合わせて設定してください。
プログレッシブスキャン方式(525p/480p)対応テレビを本機のD端子を使って接続し、映像設定でプログレッシブの設定を“オン”にしてください。切り換えのしかたは[➡ 56〜58ページ]をご覧ください。また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。
通常のテレビ(プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ)をお使いの場合や、プログレッシブスキャン方式対応テレビを本機のD端子を使わずに接続している場合は、プログレッシブの設定を“オフ”にしてください。

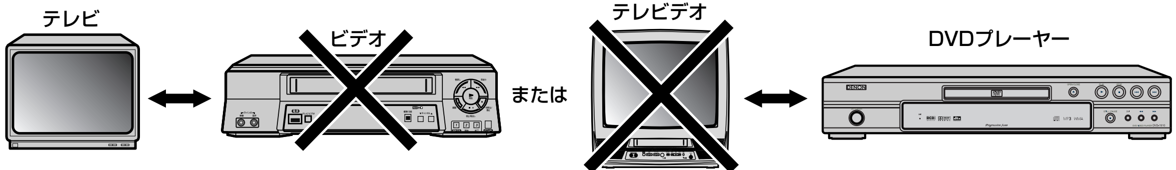


プログレッシブスキャン方式とは？
プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

このDVDプレーヤーに採用のDCDi (Directional Correlaional De-interlacing) 方式は、動きのあるビデオ素材の映像でもギザギザの目立たない滑らかな輪郭を再現します。
"DCDi"は、Faroudja, a division of Sage Inc.の登録商標です。

あどばいす

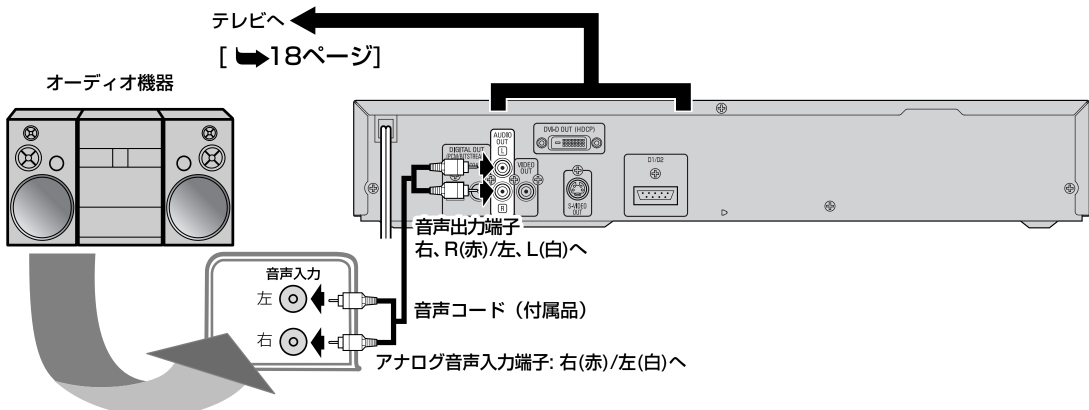
- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 56 〜 58ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。



■ アナログオーディオ機器との接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。



あどばいす

- DTSで収録されたディスクを再生したとき、本機のAUDIO OUTから音声は出力されません。

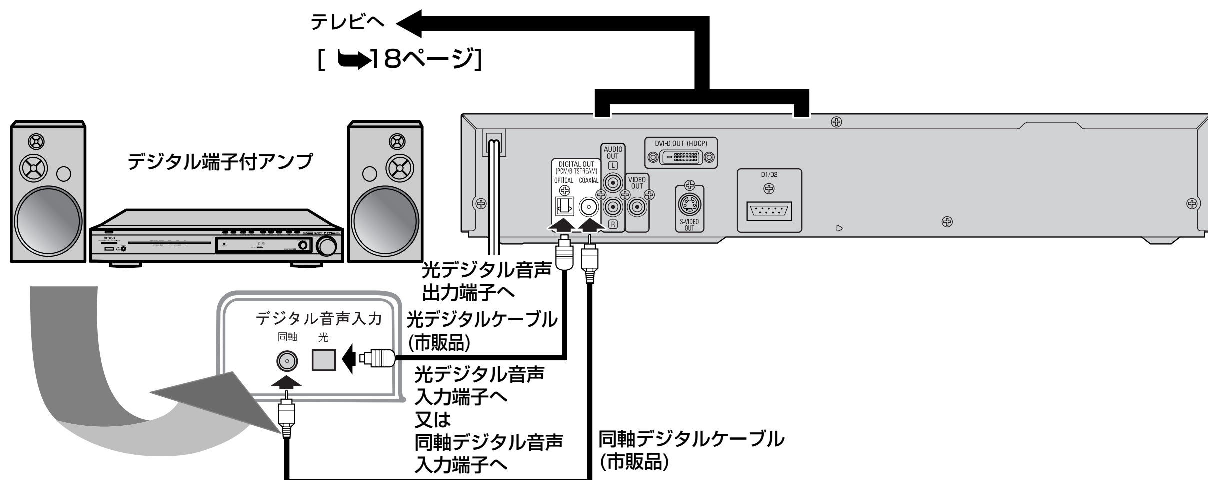
接続

■ デジタル入力端子付アンプとの接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付アンプとの接続には、光デジタルケーブル（市販品）又は同軸ケーブル（市販品）をご利用ください。



あどばいす

- 正しくない設定でDVDソフトを再生すると、音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 59 ～ 61ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- コピープロテクトのあるディスクは、デジタル音声出力されません。



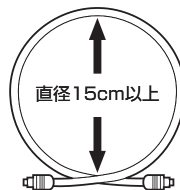
光デジタル音声出力端子について

光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。



光デジタルケーブルについて

光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布で拭いてから接続してください。

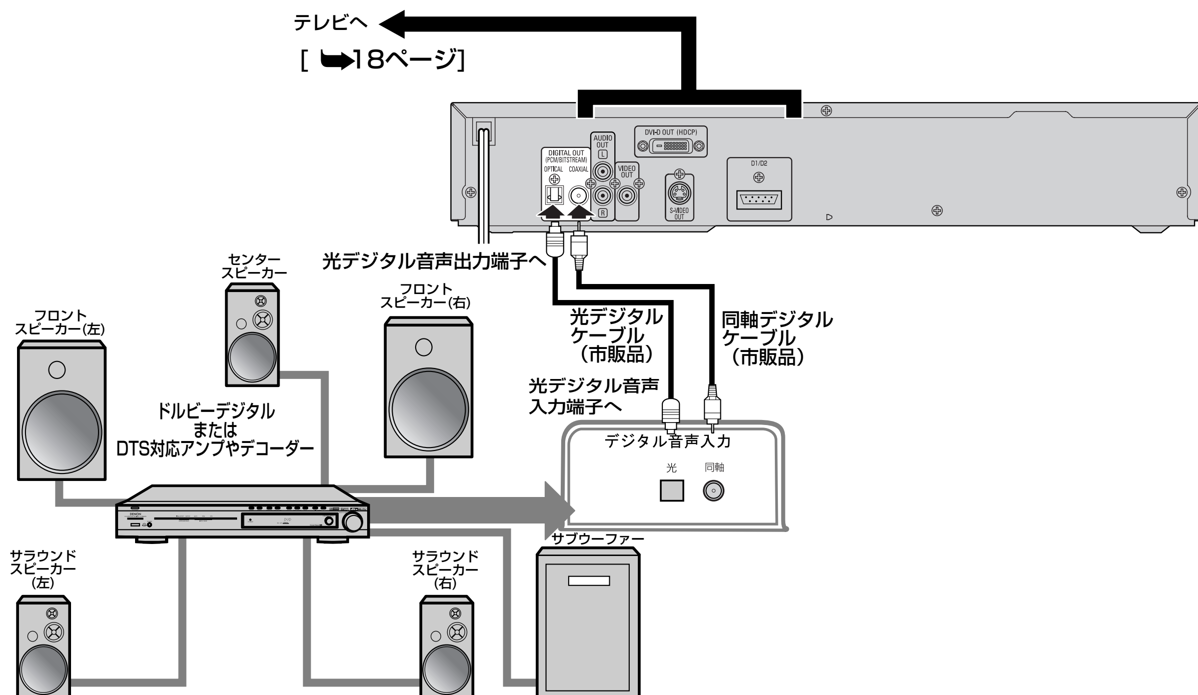


■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDソフトを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、光デジタルケーブル（市販品）又は同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。



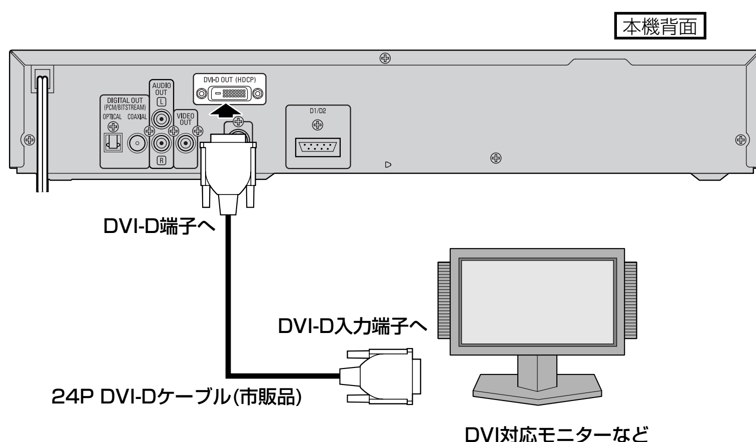
あどばいす

- ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、音声設定の[ドルビーデジタル]または[DTS]を[オン]にしてください。[➡ 59 ～ 61ページ]
- ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、音声設定の[ドルビーデジタル]と、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時はドルビーデジタル・DTSともに[オン])
  正しくない設定でDVDソフトを再生すると音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 59 ～ 61ページ]
- 著作権保護処理がされたDVDソフトの96kHzリニアPCMを再生する場合、音声設定（LPCM変換）をオフにしていても音声は48kHzに変換されます。
- DTSで収録されたディスクを再生したとき、本機のAUDIO OUTから音声は出力されません。

接続

接続について

■ DVI (Digital Visual Interface) 端子のある機器との接続





DVI接続の設定（工場出荷時は"オフ"）

フロントパネルのDVIボタンを押し DVI出力モードを設定します。ボタンを押すごとに表示管に OFF → 480P → 720P → 1080 → OFF と、現在の表示が切り換わります。

OFF(初期設定)	: DVI端子から映像信号を出力しない。
480P	: DVI端子から480pの映像信号を出力する。
720P	: DVI端子から720pの映像信号を出力する。
1080	: DVI端子から1080iの映像信号を出力する。

あどばいす

- HDCP (コンテンツ保護機能) に対応していないディスプレイ機器に接続する場合には、映像が正常に出力されません。
- DVI-D端子からは音声信号が出力されませんので、音声接続も行ってください。
- 市販のDVIケーブルには24Pのものと29Pのものがあります。本機では24P DVI-Dケーブルに対応しており、29P DVI ケーブルには接続できません。
- DVI出力モードで480P, 720P または1080が設定されているとき、本体前面のDVIランプが点灯します。
- DVI出力モードを切り換えるとき、一時的に映像や音声がひずむことがあります。
- DVI出力端子から映像出力をするとD端子からは何も出力されません。

著作権保護プログラム
DVI-D接続を通してDVDビデオ等のデジタル映像を再生するにはプレーヤーとモニター（またはAVアンプ）の双方が HDCP (High-band with Digital Content Protection System) と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と接続機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機はHDCPに対応しています。お手持ちのモニター（またはAVアンプ）については取扱説明書をご覧ください。

DVD・CDを再生する

■ DVD、音楽用CDの再生　DVD-V　CD　VCD　MP3　WMA　JPEG

● 再生を始める前に…

・テレビ、アンプ、その他、このDVDプレーヤーに接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式をこのDVDプレーヤーに適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
・ディスク走行中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
・電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

1 POWER ON を押して電源を入れる

P-ON

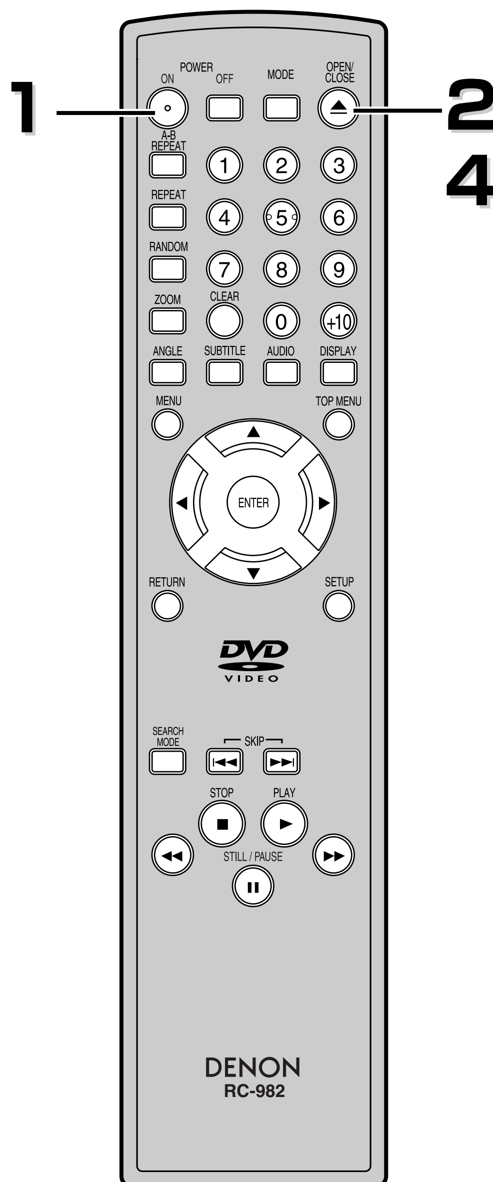
2 OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開ける

OPEN

3 再生するディスクをトレイにのせる

・ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4 OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを閉める



再
生

あどばいす

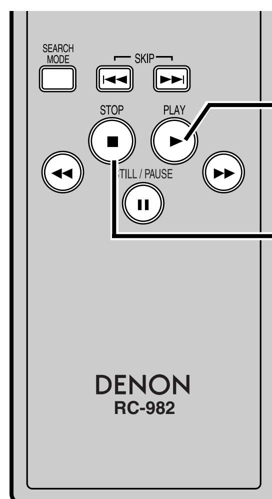
・片面記録ディスクが裏表逆になっていると、ディスクを傷つける恐れがあります。必ず裏表を確認の上、ご使用ください。
・電源「切」の状態でも、トレイ開閉ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
・2層ディスクの再生中に映像が一瞬とまることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
・MP3、WMA、JPEG形式で記録されたディスクの再生については46ページもご覧ください。

→次ページへつづく

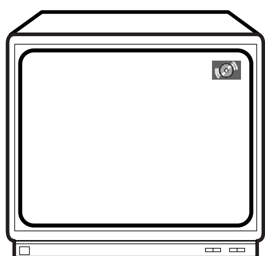
DVD・CDを再生する

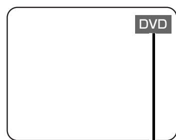
5 PLAY を押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDソフトまたはビデオCDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。33, 34ページをご覧ください。
- DVDビデオ、ビデオCDには自動的に再生するディスクがあります。

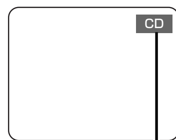


CLOSE ➡ Lodd

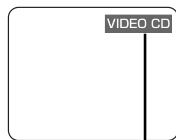




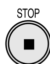
DVDビデオの場合



音楽用CD、MP3、WMA、JPEGの場合



ビデオCDの場合

6 再生をやめるとき、 を押す



画面に下記の表示が出た場合は、65ページをご覧ください。

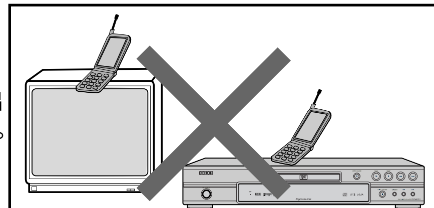
ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
−−ディスクを取り出してください。−− 再生可能なディスクを挿入してください。	−−ディスクを取り出してください。−− この地域での再生は禁止されています。	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

あどばいす

- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作がDVDプレーヤーかディスクに対して行われていることを警告するためのものです。



- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。
- 再生プログラム信号が備わっているDVDソフトの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
- 携帯電話をご使用になる時はテレビやDVDプレーヤーに近づけないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

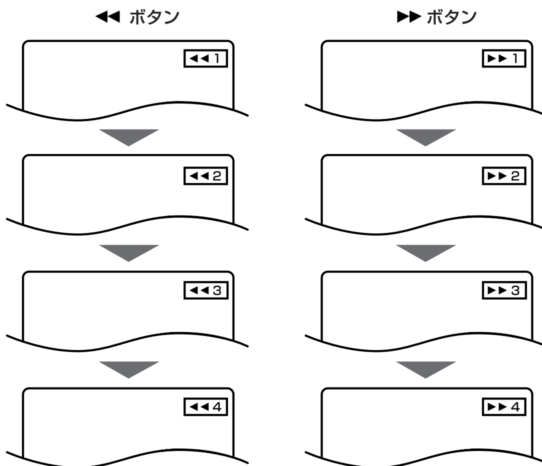


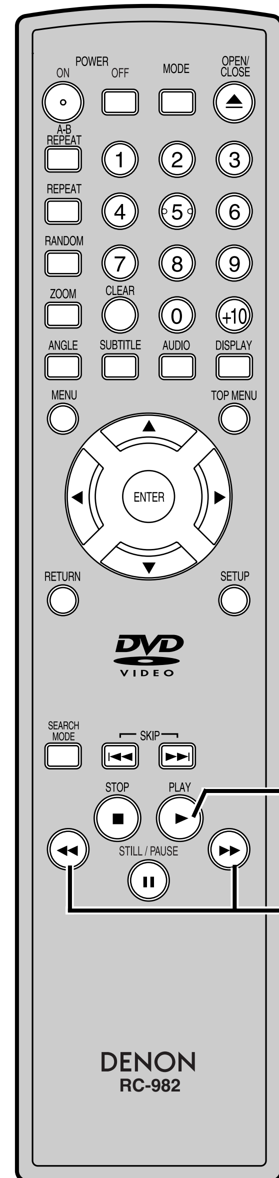
■ 早送り／早戻しをする DVD-V CD VCD MP3 WMA

1 再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

(DVDソフト、ビデオCDの音声は出ません。)

- DVDビデオの場合は ▶▶ または ◀◀ を押すたびに、再生速度は4段階に変わります。
- DVDの場合、ディスクによって早送り/早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1（×2)、2（×8)、3（×50)、4（×100）です。
- 音楽用CDの場合、再生速度の目安は16倍速です。
- MP3やWMAの場合、再生速度の目安は8倍速です。
- ビデオCDの場合、再生速度の目安は1（×2)、2（×8)、3（×30）です。





2 PLAY ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

- 画面に表示される早送り/早戻しの速度表示は目安です。ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- タイトルから別のタイトルへの早送り/早戻しはできません。
- DVDで早送り/早戻し中に映像にブレが生じる場合は、初期設定でスチルモードを“フィールド”に切りかえてください。[➡ 56～58ページ]
- CD, MP3, WMAでの画面表示では数字がでません。“◀◀ ▶▶”のみの表示となります。

再生

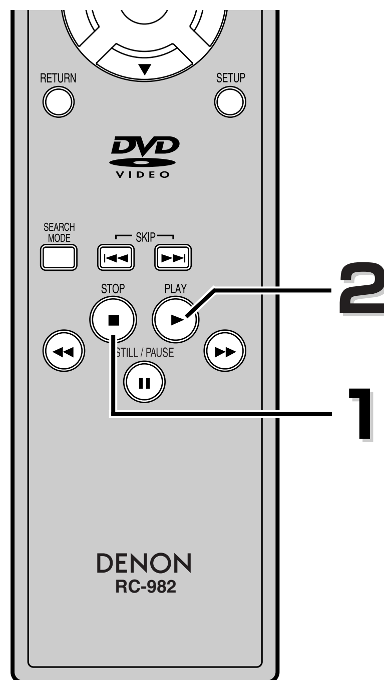
DVD・CDを再生する

■ 続きから再生する（リジューム機能） DVD-V CD VCD MP3 WMA JPEG

1 再生中に STOP (■) を押す

• 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。





2 PLAY (▶) を押す

• 停止した位置から、続けて再生されます。

あどばいす

• 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
• 次のような操作をした場合、つづき再生はできなくなります。
  ・停止ボタンを2回押す
  ・ディスクトレイを開く
• MP3、WMA、JPEGは停止したトラックの先頭からつづき再生されます。

■ チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

DVD-V CD VCD MP3 WMA JPEG

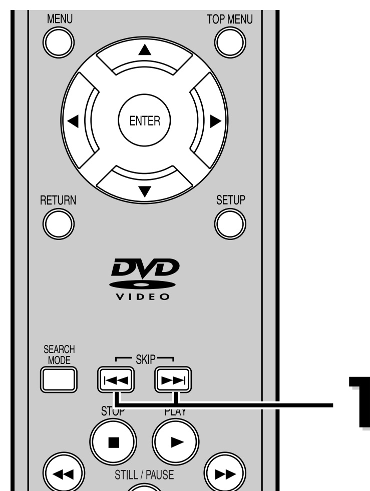
1 再生中に ▶▶| か |◀◀ を押す

• DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
• 音楽用CD、MP3、WMA、JPEG、ビデオCD の場合は、トラックの頭出しができます。

▶▶| — 次のチャプターまたはトラックを頭出しします。

または

|◀◀ — 現在のチャプターまたはトラックを頭出しします。
さらに押すと前のチャプターまたはトラックに戻ります。



あどばいす

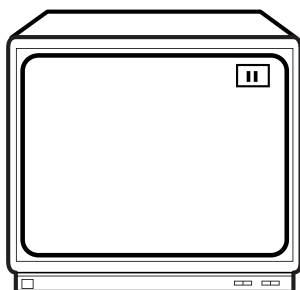
• ディスクによってはスキップ操作が禁止されている場合があります。

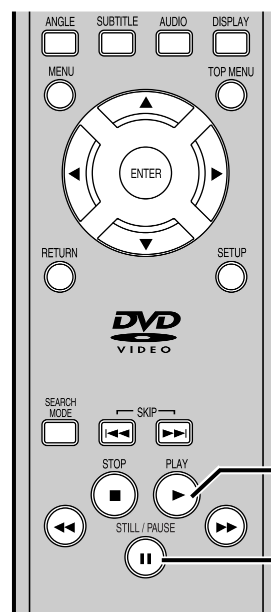
再生

■ 一時停止（静止） DVD-V C D VCD MP3 WMA JPEG

1 再生中に STILL / PAUSE を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVD、ビデオCDは静止画再生となります。
- 音楽用CD、MP3、WMA、JPEGは一時停止となります。





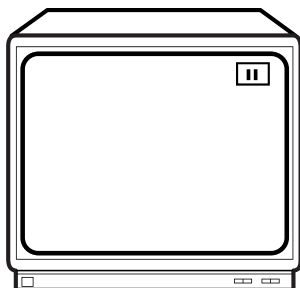
2 再生を再開するには PLAY を押す

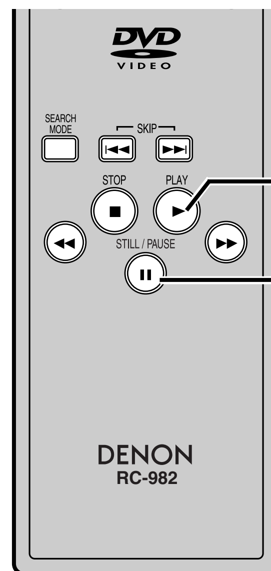
あどばいす

- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、初期設定でスチルモードを“フィールド”に切りかえてください。
  [➡ 56~58ページ]

■ コマ送り再生 DVD-V VCD

1 再生中に STILL / PAUSE を押す





2 一時停止中に STILL / PAUSE を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

3 再生を再開するには PLAY を押す

あどばいす

- コマ送り再生中に映像にブレが生じる場合は、初期設定でスチルモードを“フィールド”に切りかえてください。
  [➡ 56~58ページ]
- 本機はコマ戻しできません。

再生

DVD・CDを再生する

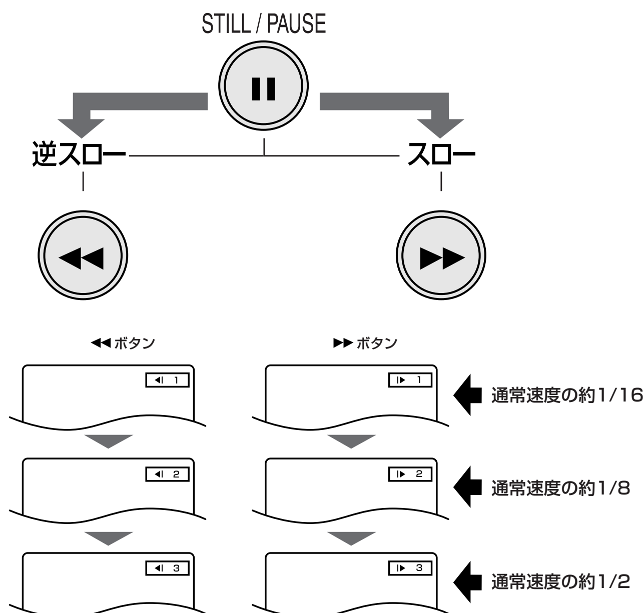
■ スロー再生　DVD-V　VCD

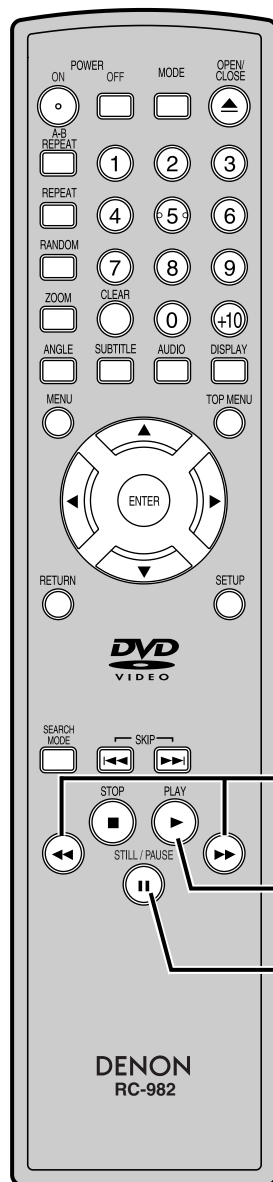
1　再生中に STILL / PAUSE を押す

2　再生を一時停止している間に ▶▶ または ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

- スローモーションモードで再生が行われます。
- ▶▶ または ◀◀ を押すたびに3段階に再生速度が変わります。ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1（1/16)、2（1/8)、3（1/2）です。





3　PLAY を押すと通常の再生速度に戻る

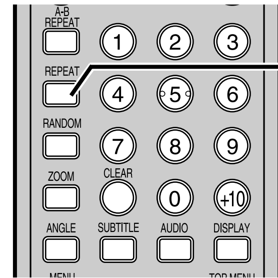
あどばいす

- スロー再生中に映像にブレが生じる場合は、初期設定でスチルモードを“フィールド”に切りかえてください。
[➡ 56~58ページ]
- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- ビデオCDは逆スロー再生できません。

■ 繰り返し再生（リピート再生）

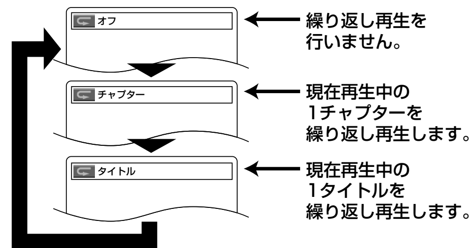
DVD-V　C D　VCD　MP3　WMA　JPEG

1 再生中に REPEAT を押す



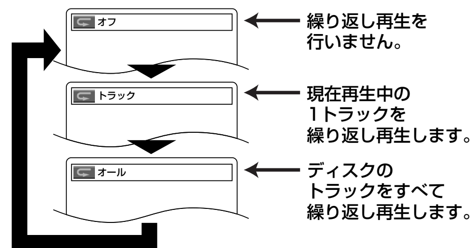
DVDビデオの場合

- １つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生します。
- REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



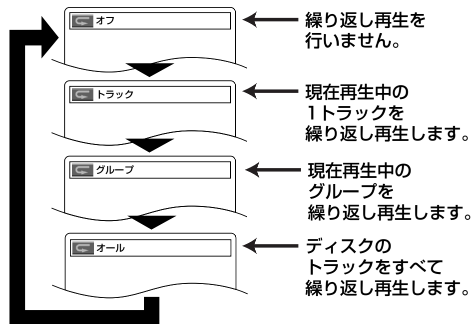
音楽用CD、ビデオCDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



MP3、WMA、JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。



プログラム/ランダム再生中に REPEAT を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。（音楽用CD：31、32ページ／MP3、WMA、JPEG：49、50ページ）

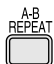
あどばいす

- ディスクによっては、繰り返し再生ができないものがあります。
- “リピート”の設定をした後、他のタイトル、チャプター、グループ、トラックをサーチすると、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- A-Bリピート設定中は、リピート設定できません。

■ 繰り返し再生（A-Bリピート再生）　DVD-V　CD　VCD

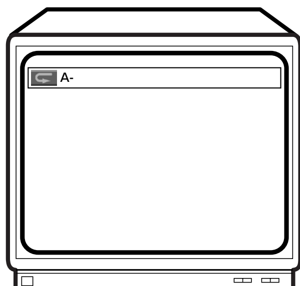
選択したセクションを繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい個所で



を押す

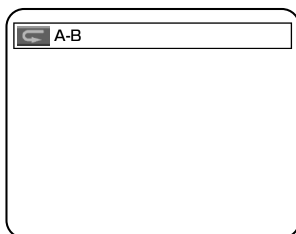
• 開始ポイント（A）が選択されます。



2 リピート再生の最終点にしたい個所で、

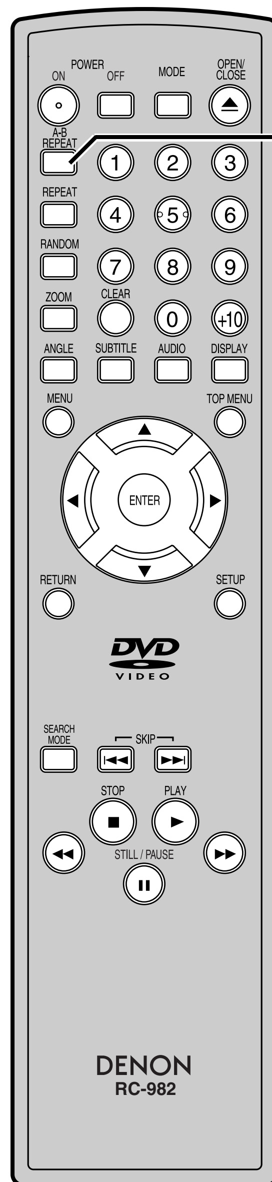
再度 A-B REPEAT を押す

• 選択されたセクションが繰り返し再生されます。



3 A-Bリピート再生を終わらせるには、 A-B REPEAT を押してリピート再生をオフに切り換える





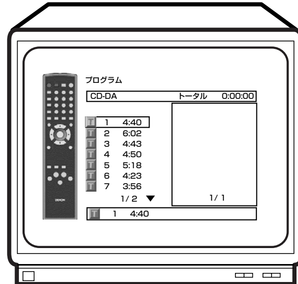
再生

あどばいす

• DVDの場合、A-Bリピートは、同じタイトル内にのみ設定することができます。
• 音楽用CD、ビデオCDの場合、A-Bリピートは、同じトラック内にのみ設定することができます。
• DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
• 設定された(A)ポイントをキャンセルするには、 CLEAR を押すと、“オフ”と表示されます。
• MP3、WMA、JPEGのA-Bリピートはできません。
• リピート設定中は、A-Bリピート設定できません。

■ プログラム再生 CD

1 停止中に MODE を押す

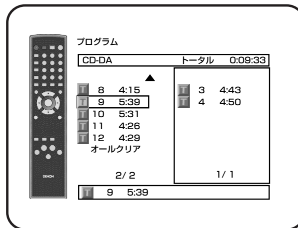


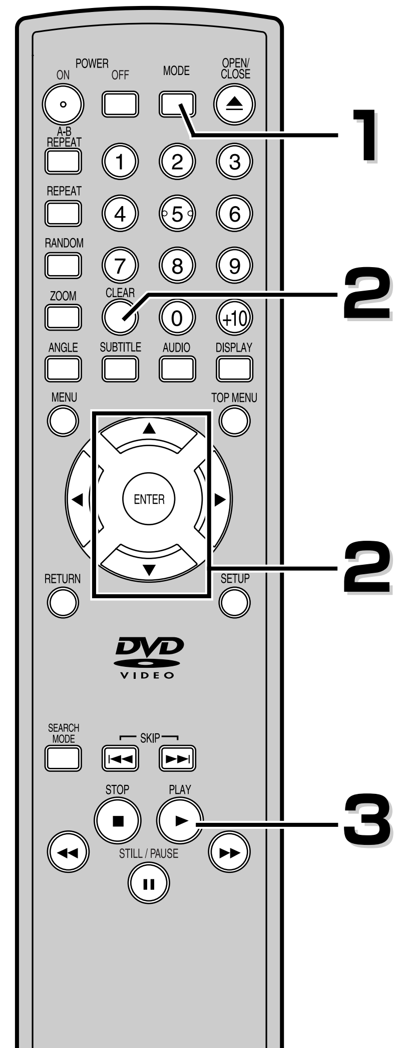
2 ▲ / ▼ を押して、希望するトラックを選択し、

ENTER を押す

- **選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。**
- **最後に入力したトラックを取り消すには、**

  CLEAR **を押します。**





3 PLAY を押す

- **プログラムされている順序で再生が開始します。**



プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

- **停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。**
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- **停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます（プログラムの設定は保持されます）。**
  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、再生モードボタンを押しプログラム設定画面を表示してから、再生ボタンを押します。

あどばいす

- プログラム再生中は追加のプログラムは実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- プログラムされた全てのトラックを消すには、手順2でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- プログラムの設定は、電源が切れたり､ディスクが入っているトレイが開くと、消去されます。
- プログラム再生中に、プログラム設定した次のトラックを再生するときは ►►| を押してください。
- 99曲(トラック)までプログラムできます。
- 設定したプログラム画面のページを切りかえるときは、 |◄◄ ／ ►►| を押してください。
- MP3、WMA、JPEGのプログラム再生方法は、[➡ 49ページ]を参照してください。

■ ランダム再生 CD

1 停止中に RANDOM を押す



2 PLAY を押す

• ランダム再生が始まります。



あどばいす

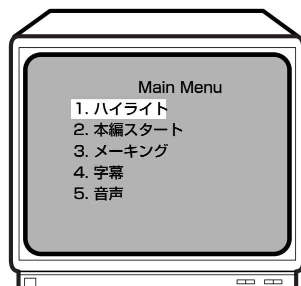
• ランダム再生中は、プログラムの再生はできません。
• ランダム再生は、停止ボタンを押したり、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
• MP3、WMA、JPEGのランダム再生方法は、[50ページ]を参照してください。

希望するところから再生する(サーチ)

■ ディスクメニューを使う　DVD-V

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

(例)



● 表示される内容はDVDによって異なります。
ここでは一般的な操作の例を示しています。

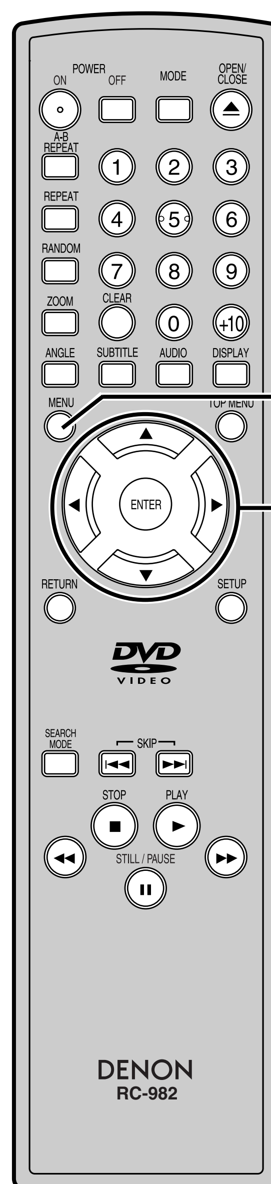
1 MENU を押す

- ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。次に ENTER を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる



サーチ

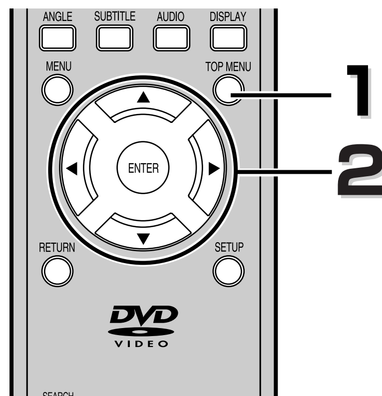
あどばいす

- ディスクの取扱説明書をお読みください。

希望するところから再生する(サーチ)

■ タイトルメニューを使う DVD-V

タイトルメニューが入っているDVDソフトの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。



1 TOP MENU を押す

- **タイトルメニューが表示されます。**

2 希望するタイトルを選択する

- **カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。次に ENTER を押します。**
- **ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。**



再生中にメニュー画面を呼び出すには？

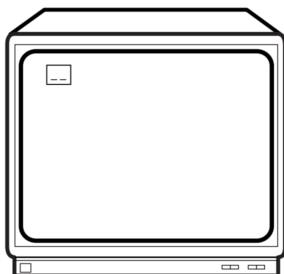
- MENU を押してディスクメニューを呼び出します。
- TOP MENU を押してタイトルメニューを呼び出します。
  （ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

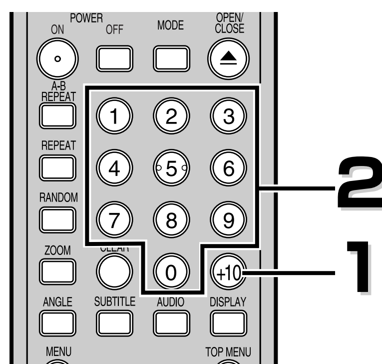
■ プレイバックコントロール VCD

PBC機能のあるビデオCDの場合は、プレイバックコントロールによりPBCメニューが自動的に画面上に表示されます。
このメニューの中から希望する項目を選択することができます。

1 (+10) を押す。

- **サーチ画面が表示されます。**





2 希望する項目の数字を入力する。

- **１桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。**
  例）項目1： 0 → 1

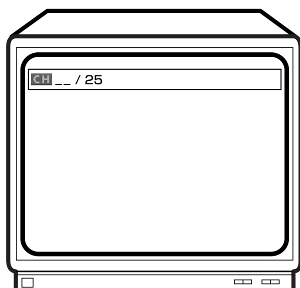
あどばいす

- PBCメニューに戻りたい場合は、 RETURN を押してください。
- プレイバックコントロール解除と復活の方法については11ページをご覧ください。

■ 希望するチャプターまたはタイトルからの再生 DVD-V

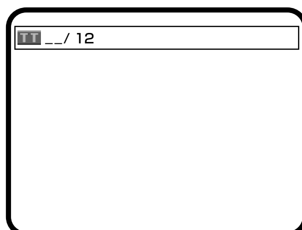
1 再生中に SEARCH MODE を押す

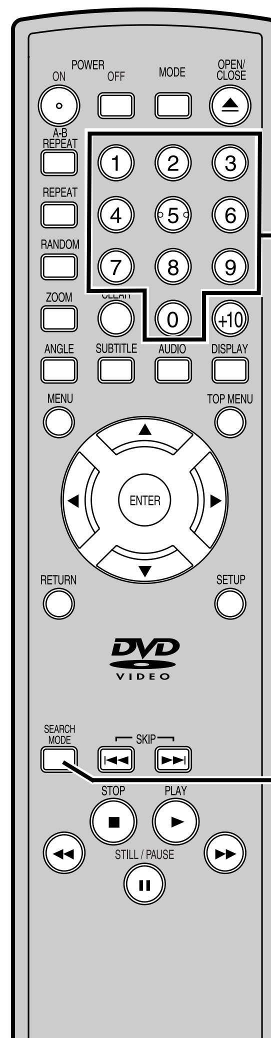
- チャプターサーチ画面が表示されます。



2 タイトル番号を変更する場合は、もう一度 SEARCH MODE を押す

- タイトルサーチ画面が表示されます。





3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。
  例）チャプター1： 0 → 1
- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）チャプター1： 1



スキップボタン(⏮ 、 ⏭)の使い方

再生中に ⏭ を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばし、次のチャプターが再生されます。 ⏮ を1回押すと、再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。 ⏮ を続けて2回押すと一つ前のチャプターに戻ります。

あどばいす

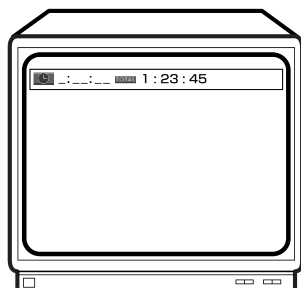
- ディスクによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプターNo.をサーチし、再生されます。
- 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生されます。
- 入力をやり直すときは、 CLEAR を押してください。

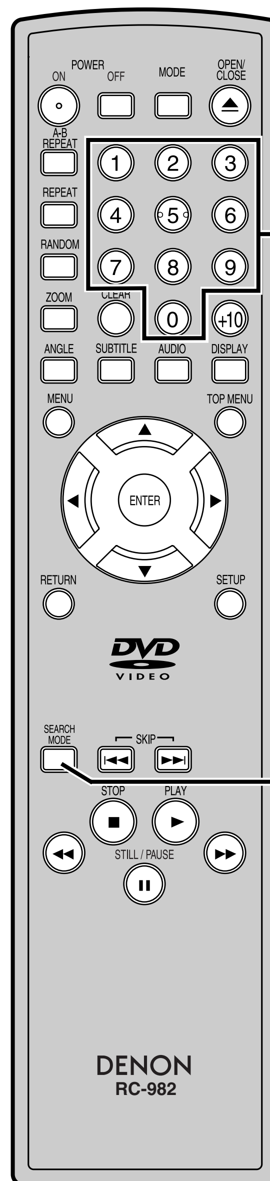
サーチ

希望するところから再生する(サーチ)

■ 希望するタイムカウントからの再生 DVD-V CD VCD

1 再生中にタイムカウントサーチ画面が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す





2 数字ボタンで希望の時間を入力すると、その時間から再生されます。

- 例： 1時間23分30秒
  1→2→3→3→0

サーチ

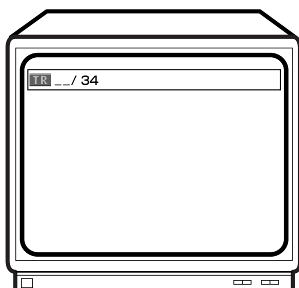
あどばいす

- DVDビデオの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
- 音楽用CD、ビデオCDの場合、ディスク全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
- ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
- 数字ボタンの入力をやり直す場合は、 CLEAR ボタンを押してください。
- MP3やWMAやJPEGのタイムサーチはできません。
- タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない個所にはあらかじめ0が表示されます。例えば、タイトルの総時間が10分未満ならば、0:0_:_ _と表示されます。

■ 希望するトラックからの再生 CD VCD MP3 WMA JPEG

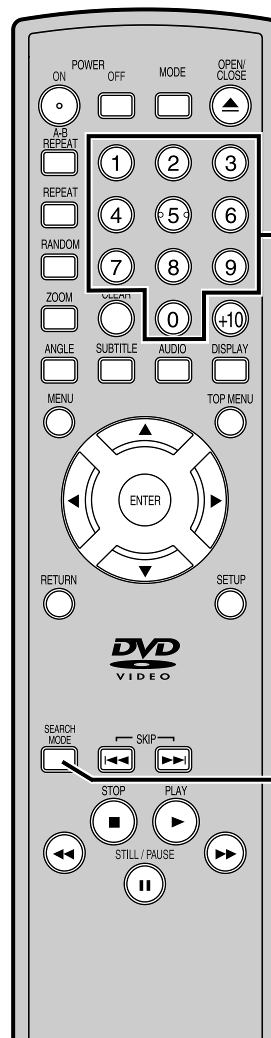
1 再生中に SEARCH MODE を押す

- トラックサーチ画面が表示されます。



2 数字ボタンを押すと希望するトラック番号から再生されます

- ディスクに2桁以上のトラックがあるとき、1桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。
  例）トラック1： 0 → 1
- 1桁のトラックしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）トラック1： 1





スキップボタン(⏮ 、 ⏭)の使い方

再生中に ⏭ を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばし、次のトラックが再生されます。 ⏮ を1回押すと、再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。

⏮ を続けて2回押すと一つ前のトラックに戻ります。

JPEGの場合、 ⏮ を1回押すと、一つ前のトラックに戻ります。

あどばいす

- 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、「+10」ボタンを押し、数字を入力します。
  （例）トラック14：＋10→1→4
- 入力をやり直すときは、 CLEAR ボタンを押してください。

サーチ

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 音声（言語）をかえる　DVD-V　CD　VCD

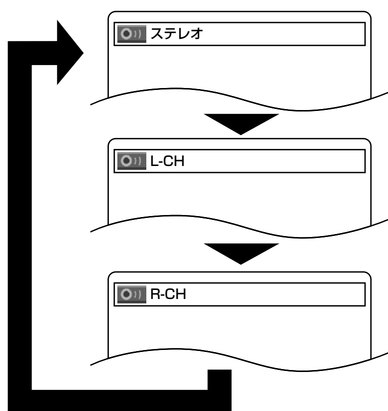
DVDプレーヤーには、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

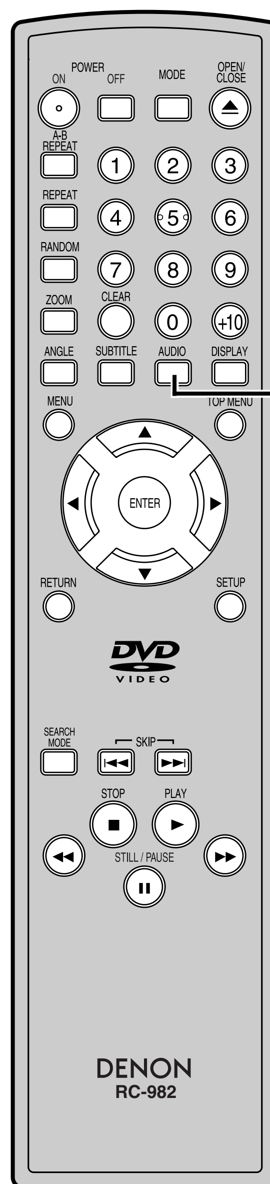
1 再生中に AUDIO を押す

2 AUDIO を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

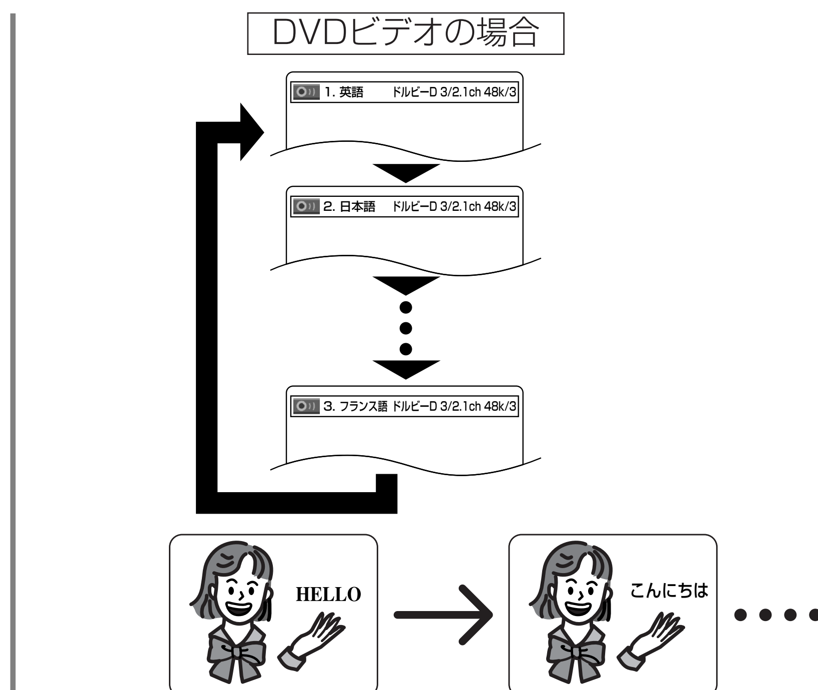
- ディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても音声ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。
- 音楽用CDやビデオCDの場合、ステレオ／左チャンネル／右チャンネルに切り換えることができます。

音楽用CD、ビデオCDの場合





お好みで



あどばいす

- AUDIO を数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の音声がDVDソフトに含まれていません。
- 電源投入時、初期設定で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDソフトに含まれていないときは、DVDソフトに入っている言語が選ばれます。
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には“日本語”や“英語”の他に、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。
- 音楽用CDやビデオCDの場合、バーチャルサラウンド（43ページ）が働いているとき、サウンドモードを切り換えることができません。
- DTS CDはサウンドモードを切り換えることができません。

再生中の設定（お好みに合わせて）

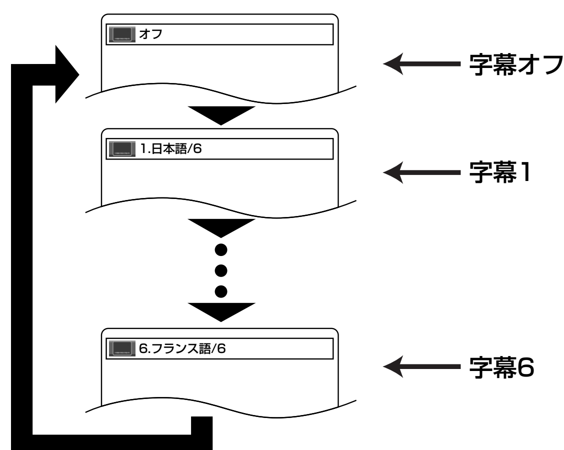
■ 字幕（言語）をかえる　DVD-V

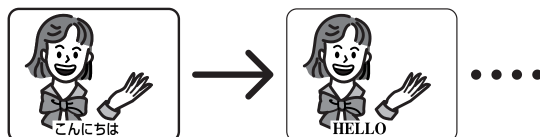
DVDプレーヤーには、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に SUBTITLE を押す

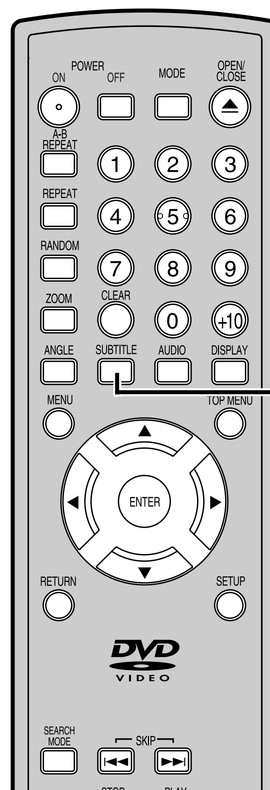
2 さらに SUBTITLE を押して希望する言語の字幕を選択する

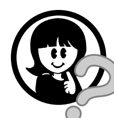
- 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語）は、使用中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても字幕ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、DVDのメニュー画面で字幕を切り換えてください。





- SUBTITLE を押すと字幕(言語）が、字幕１、字幕2---と言語が切り換わります。





字幕(言語)オン/オフの切り換えかた

1 再生中に SUBTITLE を押す。

2 カーソルボタン ◀ / ▶ を押してオン/オフを切り換える。

あどばいす

- SUBTITLE を数回押しても希望する言語が表示されないときは､その言語の字幕がDVDソフトに含まれていません。
- 電源投入時、初期設定で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDソフトに含まれていないときは､DVDソフトに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- “なし”の表示が画面上に表示されたときは､字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語の表示には、“日本語”や“英語”の他に、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。

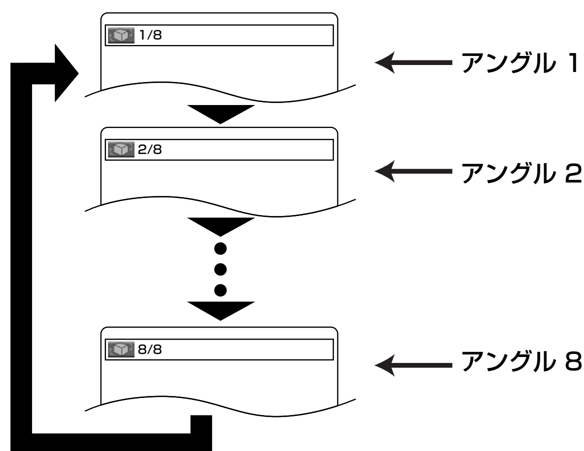
■ アングル（カメラアングル）をかえる DVD-V

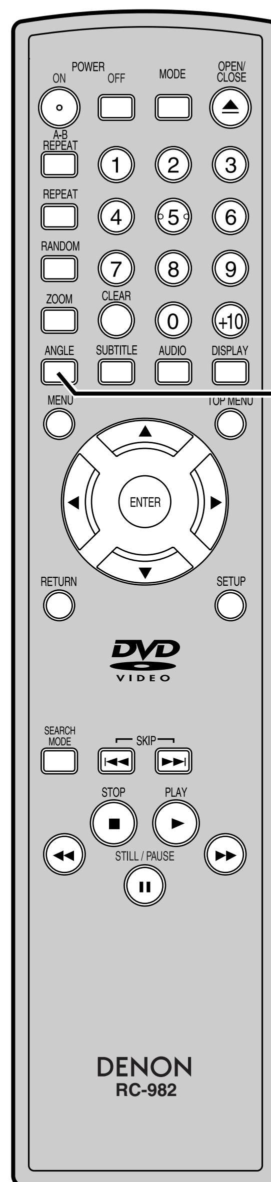
DVDプレーヤーには希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中に ANGLE を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「禁止アイコン」があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に ANGLE を押す





お好みで

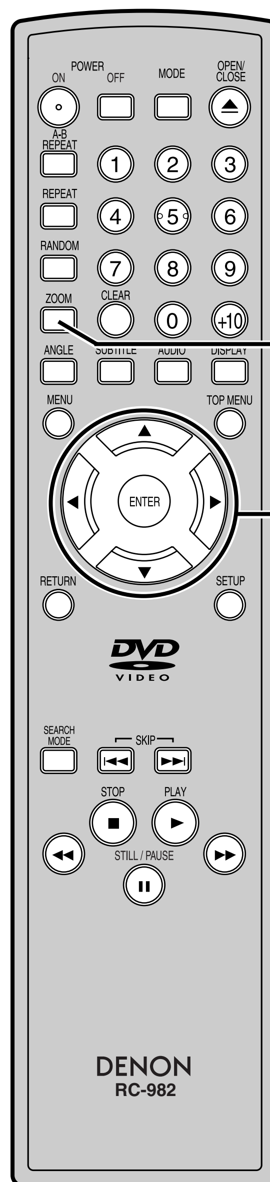
あどばいす

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- アングルアイコンの設定をオフにしている場合は「アングルアイコン」は表示されません。[➡ 56 ～ 58ページ]

再生中の設定（お好みに合わせて）

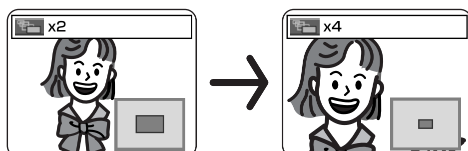
■ ズーム再生（画面上で拡大） DVD-V VCD JPEG

お好みにより画面上で2倍または4倍の大きさに拡大できます。



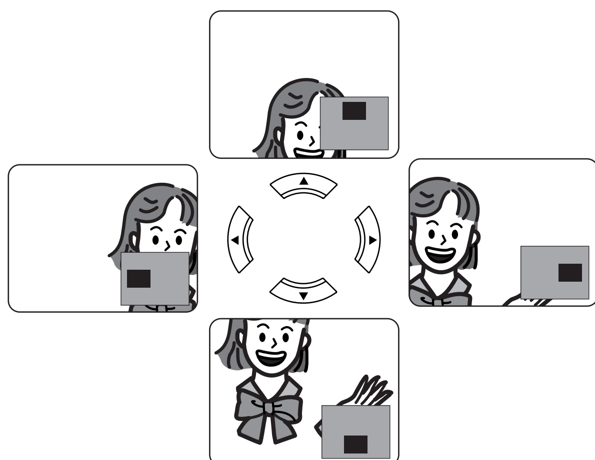
1 再生中に ZOOM を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ZOOM を繰り返し押すと、2段階の切り換えができます。



2 ズーム再生中に ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。2倍ズームのときは4段階、4倍ズームのときは6段階です。ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。また、メニュー画面でのズームはできません。
- 現在拡大されている個所は画面右下のカーソル部分です。
- 画面右下の表示は ENTER を押して表示のオン/オフを行うことができます。



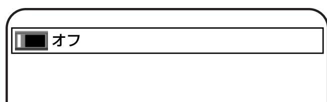
あどばいす

- ビデオCDやJPEG形式で記録されたCD-R/CD-RWは2倍ズームのみできます。

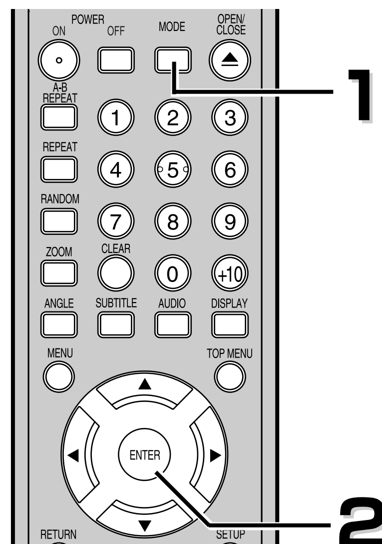
■ 黒レベル設定 DVD-V VCD

黒レベルをオンにすると、画面で暗いところを明るくします。

1 再生中に黒レベル設定画面が表示されるまで繰り返し MODE を押す



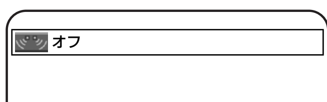
2 ENTER でオン/オフを切り換える



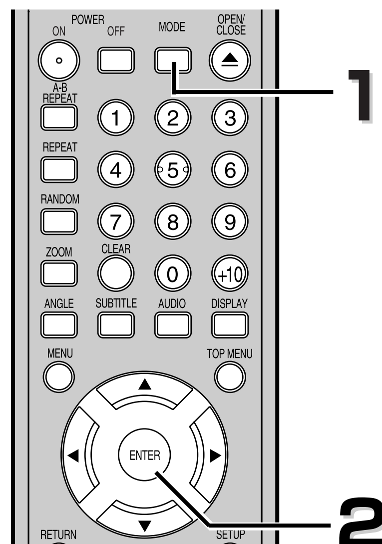
■ バーチャルサラウンド設定 DVD-V CD VCD MP3 WMA

バーチャルサラウンドを楽しむことができます。

1 再生中にバーチャルサラウンド設定画面が表示されるまで繰り返し MODE を押す



2 ENTER で［1: 標準 / 2: 強 / オフ］を切り換える



お好みで

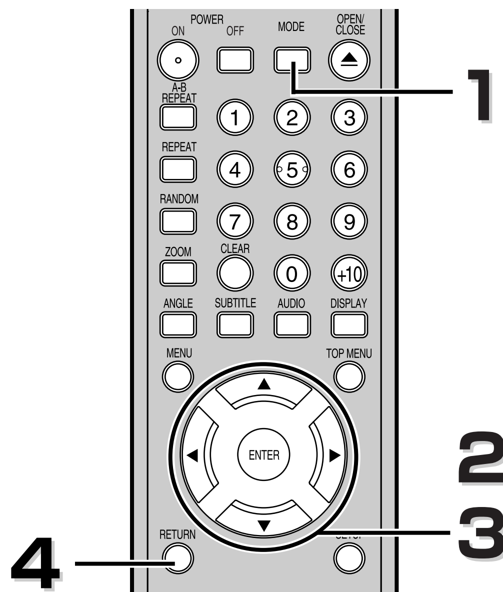
あどばいす

- ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を［オフ］にしてください。
- 音楽用CDやビデオCDでサウンドモードを“ステレオ”以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンド設定は、ダイアログスピード中は設定の変更はできません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンドの各設定値は、電源をオフにしても記憶しています。

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 画質調整（ピクチャーコントロール） DVD-V VCD

画面の明るさ（ブライトネス）、コントラスト、色合い、ガンマ補正、シャープネスを設定できます。



1 再生中に MODE を押す

PICT ブライトネス ◀0▶

2 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

3 ENTER か ◀/▶ で−6〜+6の間の数値を選択する

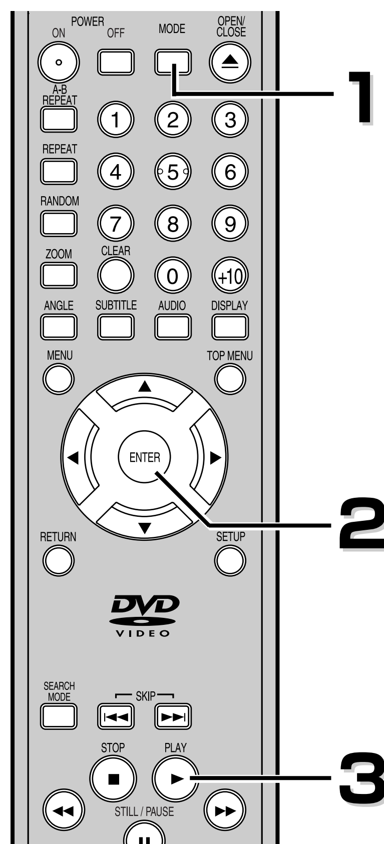
4 RETURN を押すと通常の再生に戻る

あどばいす

- 設定画面は約10秒後に消えます。
- これらの設定はダイアログスピード中は変更できません。

■ 再生速度を微調整する（ダイアログスピード） DVD-V

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみで動作します。



1 再生中にダイアログスピード設定画面が表示されるまで繰り返し MODE を押す

オフ

- 現在の設定状態が表示されます。

2 ENTER で設定を切り換える

- ♪　：約0.8倍速で再生を行います。
- ♪♪：約1.3倍速で再生を行います。
- オフ：通常再生を行います。

3 PLAY を押すと通常再生に戻ります

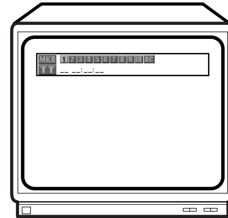
あどばいす

- 停止ボタンを押すと、この機能は解除されます。
- ダイアログスピード中は音声（言語）切り換えはできません。
- ダイアログスピード中はバーチャルサラウンド設定、黒レベル設定、ピクチャーコントロール設定はできません。
- ダイアログスピード中、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない個所があります。
- デジタル音声出力端子に接続している場合、PCM音声（2チャンネル）が出力されます。
- この機能が働くのはドルビーデジタル音声のみです。

■ マーカー設定 DVD-V C D VCD

マーカー機能を使って、マーカー設定した個所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

● マーカーを設定する



1 再生中にマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ で設定されていない1～10までの数字を選ぶ

3 ENTER を押す

• マーカーをつけた個所の時間が表示されます。

4 SEARCH MODE または RETURN を押す

• 再生画面に戻ります。



● マーカー設定した個所から再生する

1 再生または停止中にマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び ENTER を押す

• 設定されていなければ、"＿：＿＿：＿＿" と表示されます。
• 選択された個所から再生が始まります。

● マーカー設定を削除する

1 再生または停止中にマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し SEARCH MODE を押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び CLEAR を押す

• すべてのマーカー設定を削除するには、◀ / ▶ でACを選び、ENTER を押します。

3 SEARCH MODE または RETURN を押す

• 再生画面に戻ります。

あどばいす

• 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。
• MP3、WMA、JPEGのマーカー設定はできません。

お好みで

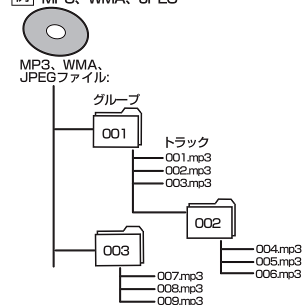
■ MP3/WMA/JPEGディスクの再生 MP3 WMA JPEG

本機はMP3、WMA、JPEG形式で記録されたCD-RやCD-RWディスクを再生することができます。
また本機はコダックピクチャーCDに収められたJPEGファイルも表示可能です。
ピクチャーCDを再生すれば、テレビで写真画像をお楽しみいただけます。
＊ピクチャーCDとは従来のフィルムカメラによって撮影された画像をデジタルデータ化しCDに記録したものです。
ピクチャーCDについての詳細はコダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。



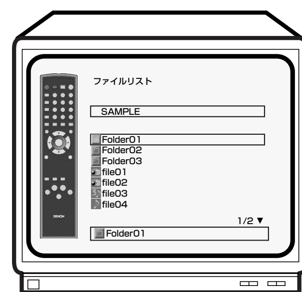
MP3、WMA、JPEGディスクについて

- 「.mp3(MP3)」という拡張子が付いたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子が付いたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- 「.wma(WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」と呼びます。
- 本機ではEXIF規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
  ＊EXIF (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association)によって制定されたものです。
- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」と「.wma(WMA)」以外のファイルはファイルリスト・プログラム設定画面には表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.wma(WMA)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」が付いたファイルでも、MP3、WMA、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。



1 MP3、WMAまたはJPEGトラックが記録されたディスクを挿入し、MENU を押す。

- ファイルリストが表示されます。
- グループ名の先頭には“▤”が表示されます。
- MP3ファイル名の先頭には“♫”が表示されます。
- WMAファイル名の先頭には“♪”が表示されます。
- JPEGファイル名の先頭には“▣”が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す“▼”が表示されます。前のページがある場合には “▲”が表示されます。“▼”の左側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ（フォルダ）、512トラック（ファイル）まで認識できます。（MP3、WMA、JPEGファイルを合わせて）
- グループの中にMP3、WMAまたはJPEGファイルが見つからない場合、グループは表示されません。



再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9600 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
ビットレート	48～192kbps
タイプ	WMA バージョン9

再生可能JPEGファイル	
画像サイズ	最大：6300×5100ドット 最小：32×32ドット

・画面に入りきらないJPEG画像は縮小して表示します。

上記以外で記録されたファイルは、禁止マークが表示され、順次再生可能なファイルをサーチします。

2 ▲ / ▼ で再生したいグループまたはトラックを選択し、PLAY ► または ENTER を押す

● **トラックを選択した場合**

選択したトラックから順に再生が始まります。

● **グループを選択した場合**

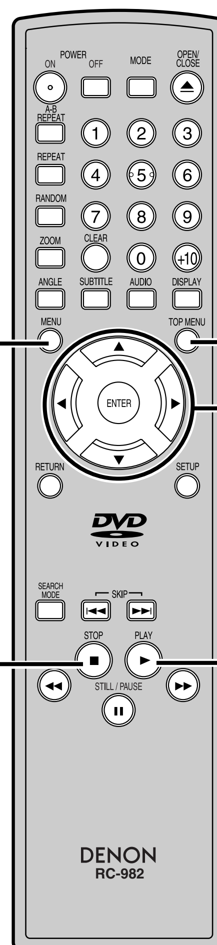
▲ / ▼ で、そのグループ内の再生したいトラックを選択し、PLAY ► または ENTER を押すと再生が始まります。

- TOP MENU で1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- ◄ で1つ前の階層に戻ります。

3

- **MP3またはWMAファイルが選択されている場合、選択されたトラックから再生が始まり、次のトラックに移ります。**
- **JPEGファイルが選択されている場合、選択されたトラックから画像再生が始まり、次のトラックに移ります。**
  トラックは約5秒間表示され、次のトラックが表示されます。ディスクによっては5秒よりも長くなることがあります。
- **画像を表示しているときは、► を押すごとに時計回りに、◄ を押すごとに反時計回りに90度ずつ画像が回転します。**

4 再生を停止するときは STOP ■ を押す



あどばいす

- **グループ、トラックの名前は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナ、スペース、アンダーバー、アスタリスクのみ表示可能で、漢字は表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。さらに記録方式によっては表示できない場合があります。この場合も、アスタリスクで表示されます。**
- **MP3、WMAの音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。**
- **ファイルリストの最初の画面を表示するときは、停止中にトップメニューボタンを押します。**
- **記録したときの条件によっては、再生できないグループやトラックが表示されることがあります。**
- **固定ビットレート112kbps以上320kbpsまでで記録されたMP3ファイルを推奨します。**
- **マルチセッションで記録したディスクも再生できます。**
- **記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。**

MP3、WMA、JPEGの再生

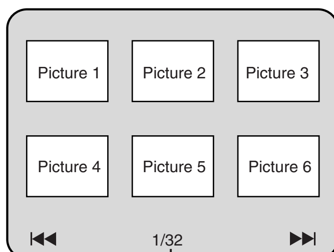
■ ピクチャーCDの再生

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。
• ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細はコダック（株）の現像サービスを取扱っている店頭にお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入し、MENU を押す

• ピクチャーCDのメニューが表示されます。





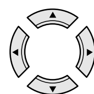
現トラック番号/総トラック数



• 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶I" が表示されます。前のページがある場合には "I◀◀" が表示されます。 現在のトラック番号と総ページ数は中央下部に表示されます。
• 前ページまたは次ページを見るには、表示された I◀◀ または ▶▶I ボタンを押します。
• すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 トラックを選択する

• カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを押して再生したいトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押します。
• 選択されたトラックから画像再生が始まります。トラックは約5秒間表示され、次のトラックに移ります。
• 画像が表示されている間は、▶ボタンを押すごとに時計まわりに、◀ボタンを押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。







あどばいす

• 再生中にメニューボタンを押すと禁止マークが表示されます。

■ スライドショーモード JPEG

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。
スライドを見るように、画像を順番に表示します。

1 再生中に MODE を押す

• スライドショーモード画面が表示されます。
• 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCDメニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2 ENTER を押す

• スライドショーモードが換わります。
カット　イン/アウト　完全な画像を一度に表示し､消去します。
フェード　イン/アウト　画像を徐々に表示し、消去します。

3 スライドショーモード画面を終了するには MODE を押す



■ MP3、WMA、JPEGディスクをプログラム順に再生する MP3 WMA JPEG

1 停止中に MODE を押す

- プログラム設定画面が表示されます。

プログラム
SAMPLE
Folder01
Folder02
Folder03
file01
file02
file03
file04
1/2 ▼ 1/1
Folder01

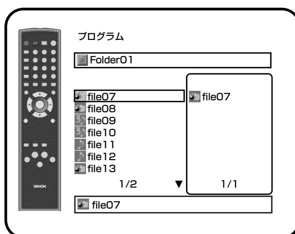
2 ▲ / ▼ でグループを選択し ENTER を押す

- トラック選択画面になります。

3 ▲ / ▼ でトラックを選択し、

ENTER を押すとプログラムに入力される

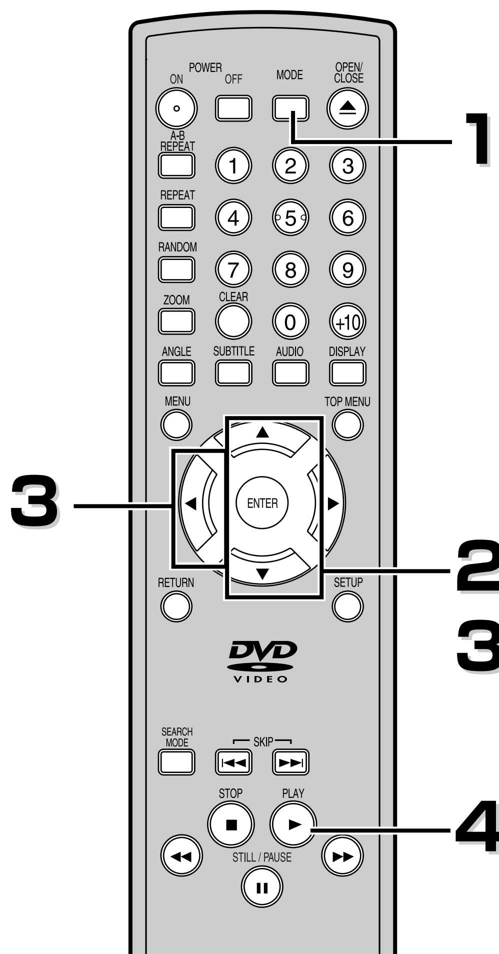
- プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。
- 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す“▼”が表示されます。
- ◀ を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。



4 プログラム入力が完了すれば PLAY を押す

- プログラム再生が始まります。

プログラム
Folder01
file14
file15
file16
file17
file18
オールクリア
file14
file18
file16
2/2
2/2
file16



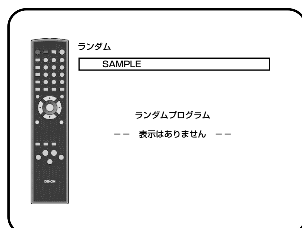
あどばいす

- クリアボタンを押すと最後に入力したトラックを取り消すことができます。
- プログラムに入力されたすべてのトラックを消すには、手順3でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- リターンボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
- 停止ボタンを1回押した場合、次に再生ボタンを押すと、再生されていたトラックのはじめからプログラム再生します。
- プログラム再生を解除するときは停止ボタンを2回押します。
- 電源を切ったりディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- 8曲(トラック)以上入力すると、設定画面は切り替わります。設定画面のページ切り替えは、SKIP |◀◀ ▶▶| を押してください。
- 99曲(トラック)までプログラムできます。

MP3、WMA、JPEGの再生

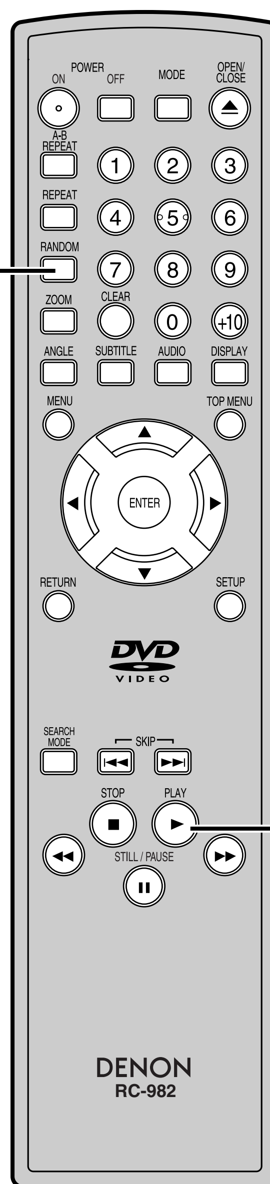
■ MP3、WMA、JPEGディスクをランダム再生する MP3 WMA JPEG

1 停止中に RANDOM を押す



2 PLAY を押す

• ランダム再生が始まります。



あどばいす

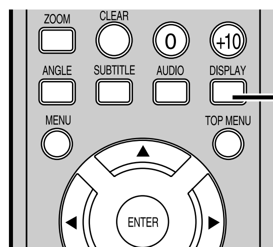
• ランダム再生中は、プログラムの再生はできません。
• ランダム再生は、停止ボタンを押したり、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

再生中の情報を見る（画面表示）

■ 画面表示の切りかえ　DVD-V　CD　VCD　MP3　WMA　JPEG

リモコンの画面表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

再生情報の表示



1 再生中に DISPLAY を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- DISPLAY を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDビデオの場合

(1) CH（チャプター） CH 67/89 0:00:00 - 0:03:30 ▶ 時間

(2) TT（タイトル） TT 1/3 0:04:33 - 1:23:45 ▶ 時間

(3) ビットレート ▮▮▮▮▮▮▮▮▮ ⊊T L1 ▶ リピート レイヤ

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDビデオに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：タイトル　C：チャプター
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

MP3、JPEGの場合

(1) ファイル名 TRACK01

(2) TR（トラック） TR 1/36 0:02:57 ⊊T ▶ リピート 時間

(3) プログラム/ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間（JPEGは表示されません）
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

音楽用CD、ビデオCDの場合

(1) TR（トラック） TR 67/89 0:00:00 - 0:03:45 ⊊T ▶ リピート 時間

(2) ALL（オール） ALL 67/89 0:00:00 - 1:23:45 ⊊A ▶ リピート 時間

(3) プログラム/ランダム再生中のみ（ビデオCDは表示されません）

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。T：トラック　A：オール
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。T：トラック　A：オール

リターンボタンまたは画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

あどばいす

- PBC付きのビデオCDでは、画面表示ボタンを押すとPBC表示をします。
PBCを解除すると（1）、（2）の表示をします。

WMAの場合

(1) ファイル名 WMA_MUSIC ▶

(2) タイトル名 TITLE ▶

(3) アーティスト名 ARTIST ▶

(4) TR（トラック） TR 2/5 0:01:23 ⊊G ▶ リピート 時間

(5) プログラム/ランダム再生中のみ

TR プログラム ▶　または　TR ランダム ▶

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	タグ情報(タイトル名)	現在再生しているトラックのタイトル名
(3)	タグ情報(アーティスト名)	現在再生しているトラックのアーティスト名
(4)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

ファイル名は25文字まで表示されます。タイトル名、アーティスト名は64文字まで表示されます。タイトル名、アーティスト名を一度に表示できない場合は、スクロール表示されます。

■ 初期設定一覧（出荷時の設定）

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。

メニュー項目	設定項目(□は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡53〜55ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	OSD言語 Quick	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. 映像設定 ➡56〜58ページ	TV画面モード Quick	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定します
	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（🎥）の画面表示有無の設定
	オートパワーオフ	オン オフ	静止で35分間入力がない場合、電源「切」にするか設定
	プログレッシブ	オフ オン	プログレッシブスキャンの設定
	表示パネル	明るい 暗い オート	本体表示パネルの照度設定
3. 音声設定（デジタル出力） ➡59〜61ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールするか設定
	LPCM変換	オフ オン	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	ドルビーデジタル Quick	オン オフ	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
	DTS Quick	オン オフ	
4. 視聴制限設定 ➡62〜63ページ	視聴制限レベル	オール 8〜1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	４桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更

あどばいす

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- Quick マークのある項目は、クイックセットアップモード内で設定することができます。その他の項目は、カスタムセットアップモード（53〜63ページ）内で設定を変更してください。

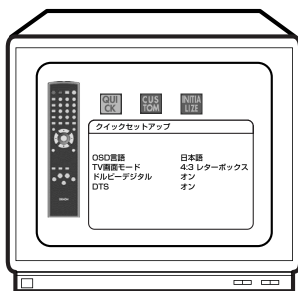
■ 言語設定

再生中の場合、 を押します。

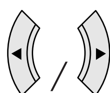
1

SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。（クイックモードが表示されます。）



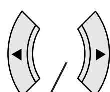
2

 を押して "CUSTOM" を選択し、ENTER を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。

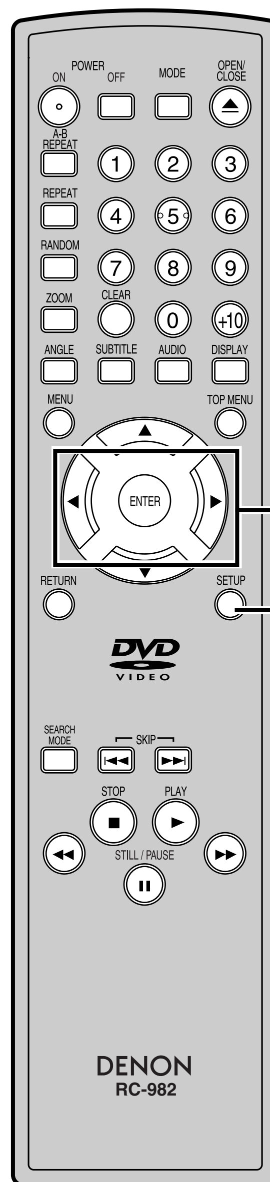


3

 を押して "Language" を選択し、ENTER を押す

• 言語設定画面が表示されます。





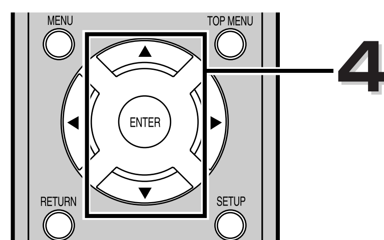
→次ページへつづく

設定

4

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、

ENTER を押す

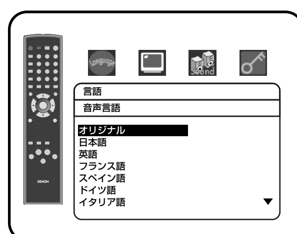


● **音声言語**（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。



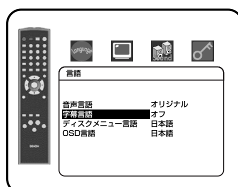


ENTER を押す



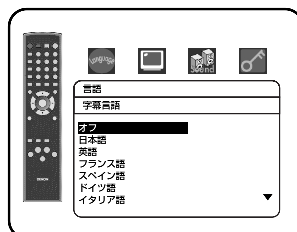
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **字幕言語**（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。



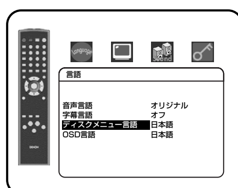


ENTER を押す



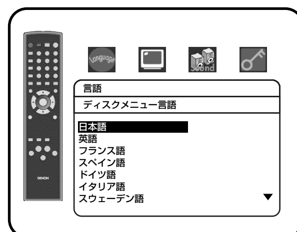
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **ディスクメニュー言語**（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。





ENTER を押す



▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

音声・字幕・ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

▲ / ▼ を押して“その他”を選択し、言語コード設定画面を表示させ ENTER を押します。55ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

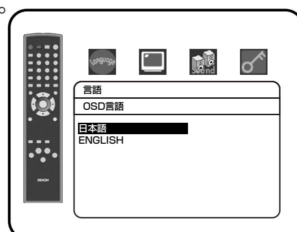


● **OSD言語**（初期設定：日本語） Quick
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。





ENTER を押す



▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

5  を押す

・設定を完了し、セットアップ画面が消えます。



あどばいす

- 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、音声ボタンと字幕ボタンを使います。
  詳しい説明は38 ～ 40ページにあります。
- リターンボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

■ 言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズルー語	7267

音声ボタンを押したとき、※は画面上にそのまま表示されます。また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

設定

設定をかえる（セットアップ）

■ 映像設定

再生中の場合、STOP（■）を押します。

1

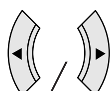


を押す

• セットアップ画面が表示されます。（クイックモードが表示されます。）



2

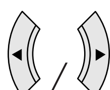


を押して “” を選択し、 を押す

• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。



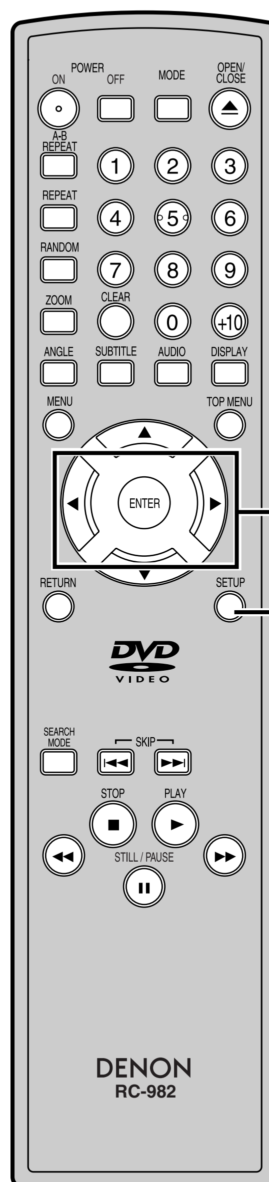
3



を押して “” を選択し、 を押す

• 映像設定画面が表示されます。

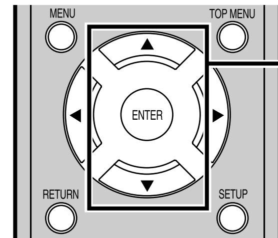




設定

4

▲／▼を押して選択したい項目を選び、ENTERを押す



● **ＴＶ画面モード**（初期設定：4:3 レターボックス） Quick
＊4:3 レターボックス：上下に黒い帯つきの画面
＊4:3 パンスキャン：左右をカットした画面
＊16:9ワイド　　：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

・ディスクによっては、TV画面モードで設定したモードとは違う画面になることがあります。



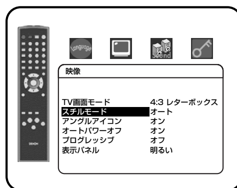


を押す



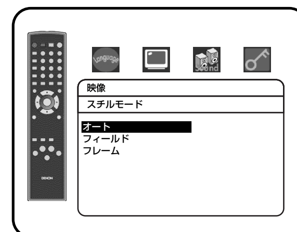
▲／▼を押して選択したい項目を選び、ENTERを押す

● **スチルモード**（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
＊オート　：通常はこの設定を選びます。
＊フィールド：オートに設定しても画像のブレが発生するとき設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
＊フレーム：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。“フレーム”を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。



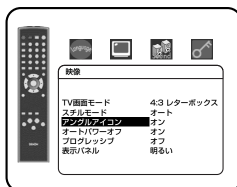


を押す



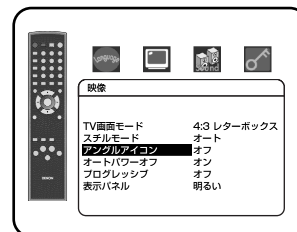
▲／▼を押して選択したい項目を選び、ENTERを押す

● **アングルアイコン**（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

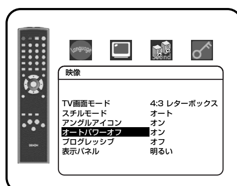




を押す

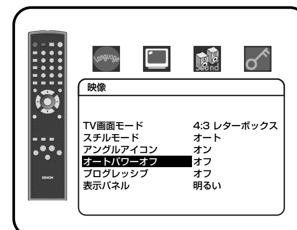


● **オートパワーオフ**（初期設定：オン）
静止または停止状態が35分間続くと、電源が自動的に切れるように設定できます。





を押す

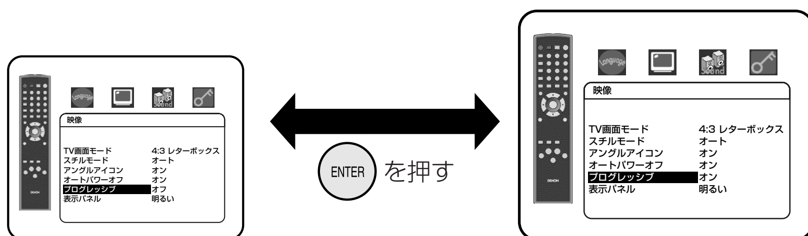


設定

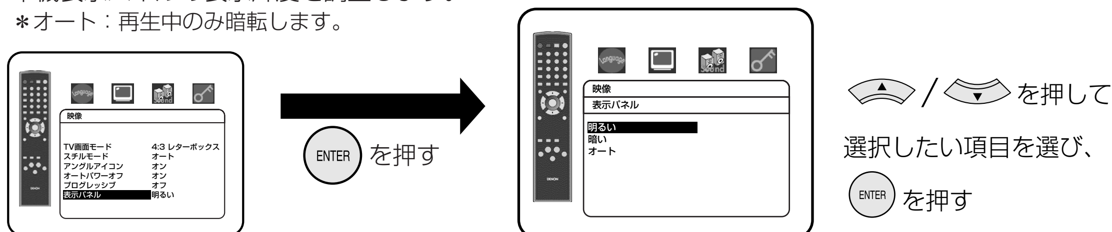
→次ページへつづく

設定をかえる（セットアップ）

● **プログレッシブ**（初期設定：オフ）
プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は[19ページ]をご覧ください。



● **表示パネル**（初期設定：明るい）
本機表示パネルの表示輝度を調整します。
＊オート：再生中のみ暗転します。



5 SETUP を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**
- **プログレッシブスキャンの設定はこの時点で有効になります。**



あどばいす

- RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

■ 音声設定

再生中の場合、STOP ■ を押します。

1 SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。（クイックモードが表示されます。）



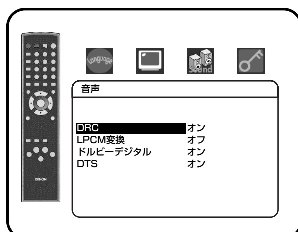
2 ◀ / ▶ を押して "CUSTOM" を選択し、ENTER を押す

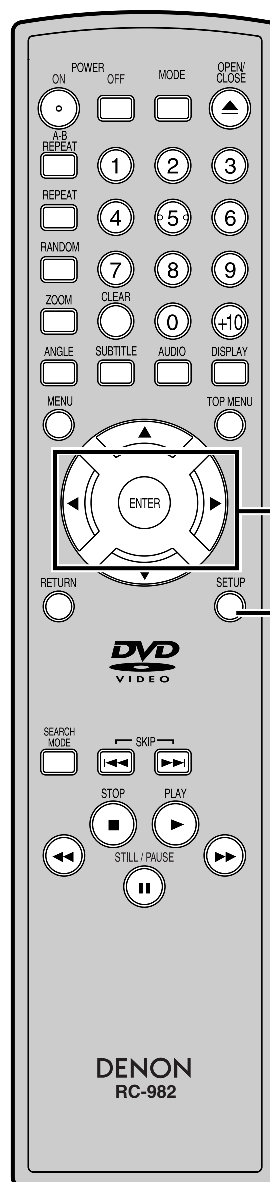
• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。



3 ◀ / ▶ を押して "Sound" を選択し、ENTER を押す

• 音声設定画面が表示されます。



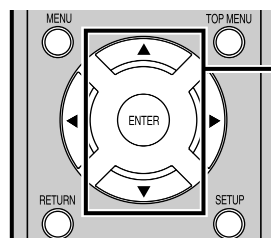


→次ページへつづく

設定

4 ▲/▼を押して選択したい項目を選び、

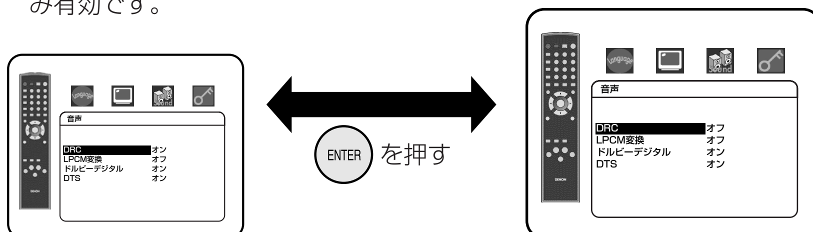
ENTERを押す



● DRC（初期設定：オン）

＊オン：再生時に音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整します。

- この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく音量が低い部分のレベルを上げることもできます。
- ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

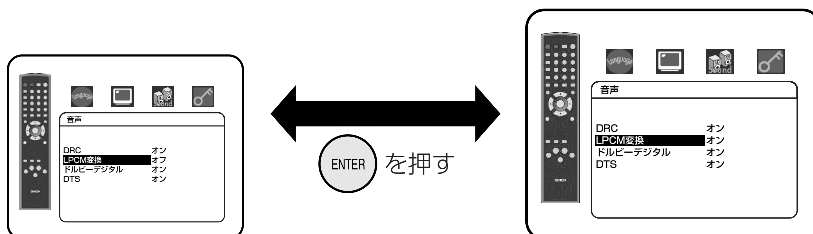


● **LPCM変換（ダウンサンプリング）**（初期設定：オフ）

96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。

＊オフ：96kHzに対応したアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。
ただし、ディスクのコピーガード機能が働いているとき、96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。

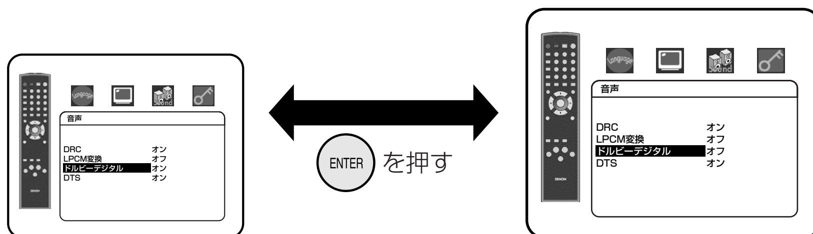
＊オン：96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。



● **ドルビーデジタル**（初期設定：オン） Quick

＊オン：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

＊オフ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

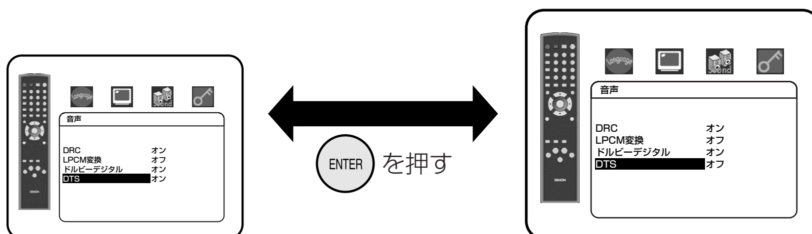


設定

● DTS（初期設定：オン） Quick

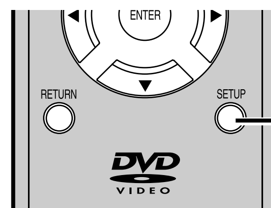
＊オン：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

＊オフ：DTSデコーダーを搭載しないアンプと接続したときに選びます。



5 SETUP を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。



あどばいす

• メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。

• RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

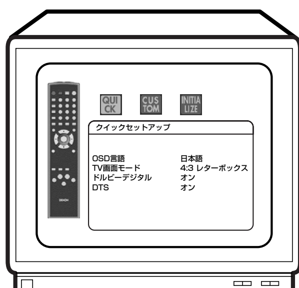
• DTSで収録されたディスクを再生したとき、本機のAUDIO OUTから音声は出力されません。

■ 視聴制限設定

再生中の場合、STOP（■）を押します。

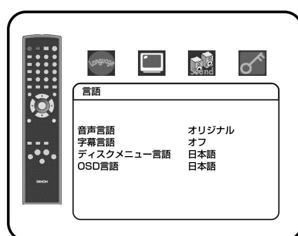
1 SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。（クイックモードが表示されます。）



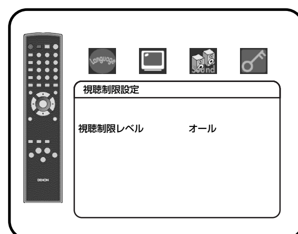
2 ◀ / ▶ を押して “CUSTOM” を選択し、ENTER を押す

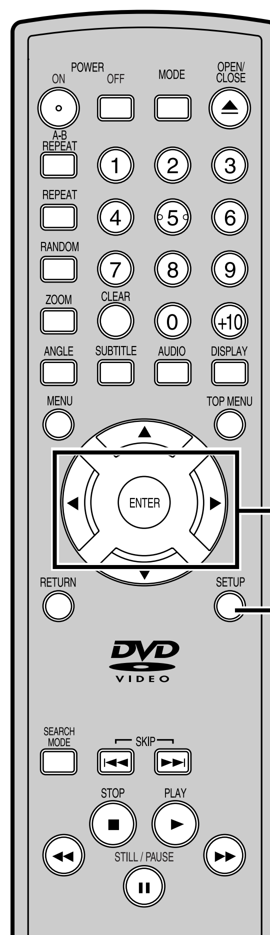
• カスタムモード（言語設定画面）が表示されます。



3 ◀ / ▶ を押して “ ” を選択し、ENTER を押す

• 視聴制限設定画面が表示されます。

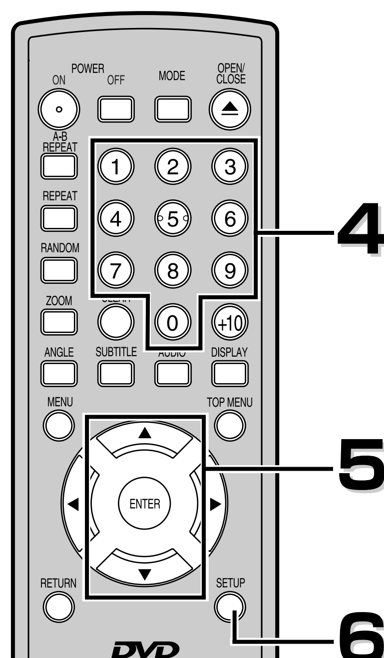






視聴制限について

お子さんが誤ってDVDプレーヤーを操作できないようにするための機能です。ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。
本機はディスクに視聴規制コードが記録してあれば視聴制限をかけることができます。視聴規制対応のディスクを再生したとき、暴力シーン等、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。選んだ視聴規制レベルより上のレベルのディスクは、視聴制限を解除しないかぎり、再生できません。



4

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- **最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、決定ボタンを押します。この数字は次回からパスワードとして使用されます。忘れないようにご注意ください。**
- **パスワードを入力して、視聴制限レベルとパスワード設定を変更することができます。**
- **「4737」をパスワードにすることはできません。**

● 「1、2、3、4」と入力した場合



5

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 ENTER を押す

● 視聴制限レベルを選択した場合

▲ / ▼ を押してオールまたは8から1までの項目を選び、 ENTER を押します。

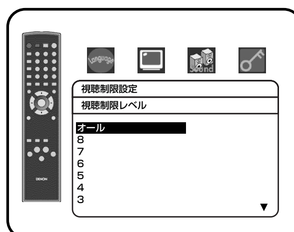


(オール)

視聴制限をオフ状態にします。

(レベル 8)

どのグレードのDVDソフトウェア
（成人、一般、子供）でも再生できます。



(レベル7から2)

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

(レベル1)

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。
成人向け、一般用のソフトウエアは利用できません。

● パスワード変更を選択した場合

数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、 ENTER を押します。



パスワードを忘れたとき

手順4で以下の操作をおこなってください。
※リモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

6

SETUP を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

あどばいす

- **設定した方法で、視聴制限機能が作動するか確認してください。**
- **パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。**

■ 視聴制限設定以外の設定を初期化する

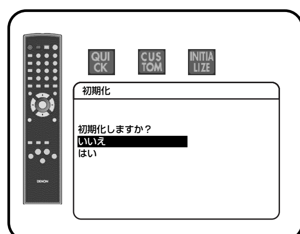
1 SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。



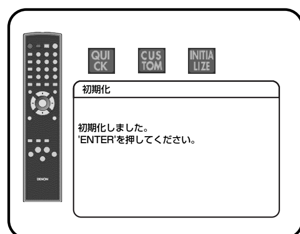
2 ◀ / ▶ を押して "INITIALIZE" を選択し、ENTER を押す

• 初期化画面が表示されます。



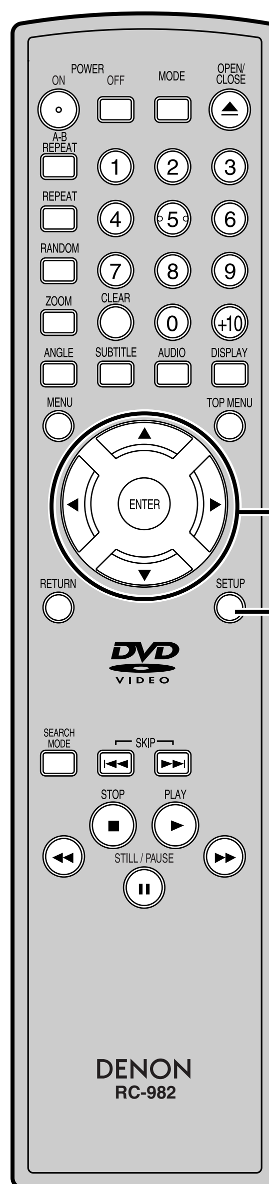
3 ▲ / ▼ を押して"はい"を選択し、ENTER を押す

• 初期化が実行されます。



4 SETUP を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。



■ ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください	―― ――
リモコンで操作できない	※リモコンが本機の受光部に向いていない ※リモコンと本機が離れすぎている ※リモコンと本機の受光部の間に障害物がある ※リモコンの電池が消耗している ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした ※本体が故障している可能性があります	●リモコンを本機の受光部に向ける ●5m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●電池を交換する ●リモコンの交換が必要です。お近くの販売店にご相談ください ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行ってみてください。AM放送で放送局のない周波数(雑音の出る状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられますので、本体が故障している可能性があります。**お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください**	16 16 ―― 16 ―― ――
画像が出ない	※映像接続コードがはずれている ※再生できないディスクが入っている ※コピーガード機能が働いている ※HDCP非対応のモニター（またはAVアンプ）に接続している ※DVI出力モードを480P, 720Pまたは1080に設定している	●映像接続コードをしっかり接続する ●DVDソフトの場合､リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っていないか､確認する ●再生できる種類のディスクを入れる ●本機とテレビを直接接続する ●DVI-D端子の接続と設定を解除し、映像出力を正しく行う。 ●D端子から映像を出力する場合は、DVI出力モードをOFFにしてください。	18 9〜10 9〜10 18、19 18、22 22
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※視聴制限設定が有効になっている	●電源プラグをコンセントへ差し込み、約1〜2時間放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●視聴制限設定を解除するか、規制レベルを変更する	7 23 23 7 62〜63
音声が出ない	※音声接続コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切り換えが正しくない	●音声接続コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行う ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切り換えを正しく行う	18〜21 59〜61 ―― ――
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している ※プログレッシブスキャンモードになっている（表示部に“P.SCAN”が点灯している）	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する ●D1のみ対応のテレビとD端子で接続しているときは､「プログレッシブ」を「オフ」にしてください	18、19 ―― 24 19、58
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDソフトにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	38〜40 53〜55
アングルを変えて見ることができない	※DVDソフトに複数のアングルが記録されていない	●DVDソフトに複数のアングルが記録されているか確認する	41
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDソフトに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	38〜40
テレビ画面に“⊘”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	24
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDソフトの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●DVDソフトの仕様を満たしているディスクと取り換えて再生する ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り換えて再生する ●映像が一瞬とまることがありますが、故障ではありません	―― 7 ―― 23
勝手に電源が切れる	※停止状態で35分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	57
“ディスクエラー −−ディスクを取り出してください。−− 再生可能なディスクを挿入してください。” と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り換えて再生する	9 7 23 7
“リージョンエラー −−ディスクを取り出してください。−− この地域での再生は禁止されています。” と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	9
“パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。”と画面表示される	※視聴制限設定が有効になっている	●視聴制限設定を変更する	62〜63

あどばいす

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なる事がありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

英数字

用語の解説

用語	説明
D1/D2映像出力端子（D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、PB/CB、PR/CR）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。DRCオン/オフを切り換えることによって、テレビの会話などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
DTS	DTS社が開発したデジタル音声記録方式です。音質を重視し、圧縮率を低くしています。
DVI-D端子	HDCP（コンテンツ保護機能）に対応したプレーヤーとモニター（またはAVアンプ）をDVI-D 端子で接続しDVDビデオ等の映像を再生します。
HDCP	HDCP (High-band with Digital Content Protection System) と呼ばれる著作権保護機能で、データの暗号化と接続機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
MP3/WMA/JPEG	MP3、WMA、JPEGファイル形式で圧縮された音楽データが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDソフトの映像/音声はこの方式で記録されています。
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
視聴制限	ディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限などがあらかじめ設定されています。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。

用語	説明
トラック	音楽用CDの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことです。最大5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDソフトからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。音楽用CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、音楽用CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDソフトには、各国に合わせて再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面

仕様

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

出力信号形式		NTSCカラー方式
対応ディスク		DVDビデオディスク 音楽用CDディスク ビデオCDディスク
端　子	S映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) C出力レベル：0.286Vp-p 出力端子：S端子　1系統
	映像出力	出力レベル：1Vp-p (75Ω) 出力端子：ピンジャック　1系統
	D1/D2映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) PB/CB出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) PR/CR出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) 出力端子：D1/D2端子　1系統
	DVI-D出力	出力端子：24ピンDVI-D端子　1系統
	デジタル音声出力	出力端子：光出力端子　1系統 同軸出力端子　1系統
	アナログ音声出力	出力レベル：2Vrms 2チャンネル（L/R）出力端子：ピンジャック　1系統
周波数特性		DVD（リニアPCM） 4Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数） 4Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数） CD 4Hz～20kHz (JEITA) ※
信号対雑音比（S／N比）		CD：115dB
ダイナミックレンジ		DVD：100dB、CD：98dB
総合ひずみ率		CD（1kHz）：0.004%
電　源		AC100V　50/60Hz
消費電力		12W（スタンバイ時：約0.9W）
最大外形寸法		435mm（幅）x 75mm（高さ）x 220mm（奥行）（突起物を含む）
質　量		約2.1kg

リモコンユニット	RC-982
リモコン方式	赤外線パルス式
電　源	DC3V　単3乾電池2本使用

※(社)電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（デノンサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。
（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）
その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

お問い合わせ先変更のお知らせ

2004年10月 8日まで：TEL（03）3837-8919
2004年10月12日から：TEL（03）6731-5555

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

株式会社デノン

本　　社　〒104-0033　東京都中央区新川1-21-1
茅場町タワー14F

お客様相談センター　TEL:　（03）6371-5555
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次のURLでもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in China　511 4200 005
E59E1JD/1VMN20309★★★★★